

Nagoya Transportation Development Organization

# 30th Anniversary

1989-2019

創立30周年記念

**DO!**

株式会社名古屋交通開発機構



# DO! 目次

Contents

## 創立30周年記念

- 創立30周年にあたって ..... 2
- 創立30周年を祝して ..... 3
- 30年のあゆみ ..... 4
- 会社概要 .....12
- 事業の紹介
  - 1 ICカードシステム事業 .....14
    - ・ICカード事業（システム運営・カード発行）
    - ・電子マネー事業
    - ・クレジットカード事業
    - ・その他の事業
  - 2 サービスセンター運営事業 .....18
    - ・交通局サービスセンター運営業務
    - ・交通局お忘れ物取扱業務
    - ・乗車券販売業務
    - ・乗車券関連業務
  - 3 販売・サービス事業 .....20
    - ・コインロッカー事業
    - ・公衆電話管理事業
    - ・利便施設事業
    - ・現金自動預払機（ATM）設置事業
    - ・直営店舗事業
    - ・広告販売事業
  - 4 広告管理事業 .....25
    - ・広告管理業務
    - ・広告取扱業務
  - 5 ビル管理事業 .....27
    - ・当社所有の賃貸物件の管理運営
    - ・交通局有効活用資産の管理運営
  - 6 地下街管理事業 .....30
    - ・地下街等の店舗賃貸・管理運営
  - 7 施設保守事業 .....35
    - ・地下鉄駅務機器の点検・整備業務
    - ・地下鉄変電所設備の保守・点検業務等
    - ・バス車両清掃業務等

- 資料
  - 定款 .....40
  - 歴代の役員 .....44
  - 社員数・売上高の推移 .....46
  - 年表 .....48



このロゴタイプは株式会社名古屋交通開発機構の英文表記 Nagoya Transportation Development Organization Co., LtdのDとOを標識化したもので、「DO!」に「!」をつけて、力強く「行動する、仕事をする」という会社の行動姿勢を表しています。

また、2色は、「青」が力強さと創造性を、「緑」がお客様との意思の疎通を大切にすることを表しています。

このロゴは商標登録しています。(商標登録:第4083093号)

### 【 凡 例 】

- 年号は元号で表記しました。
- 名古屋市の部局名・事業名は「交通局」「市バス・地下鉄」など原則局名・事業名のみとしました。
- 社団法人名古屋市交通局協力は原則「協力会」と略記しました。
- 株式会社は(株)と略記しました。
- 人物や団体名への敬称は省略しました。
- 特記のない限り平成31年4月1日現在の状況を記載しました。



## 創立30周年にあたって

当社は、平成元年7月1日、名古屋市交通事業の健全な運営に寄与することを目的とする株式会社として、名古屋市の出資により設立されました。

このたび、創立30周年を迎えることができましたが、これもひとえに、名古屋市交通局をはじめ、関係各位のご支援・ご協力、並びに、先輩諸氏のご尽力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

平成元年の設立時には、賃貸ビル管理などを行なう社員6名の小さな会社でしたが、その後、名古屋市交通局の有効活用資産の拡充や業務の外注化の拡大、当社独自事業の開拓などにより、順次、事業規模を拡大してまいりました。さらに、平成19年に社団法人名古屋市交通局協力会の事業を引き継ぎ、平成22年に名古屋地下鉄振興株式会社及び株式会社交通エンジニアリングと合併したことにより、市バス・地下鉄の運行や資産の活用にかかわる広範な業務を担当する会社となりました。

現在では、営業本部としてICシステム部と販売事業部、サービス事業本部として広告事業部と乗車券環境部、不動産事業本部として管理部と施設部、技術本部として整備部、そして総務・経理を担当する総務部の8部の体制となり、社員数は、正社員からパート社員まで会社全体では約360名を擁する規模になっております。

今後につきましては、名古屋市の外郭団体として、また、名古屋の都市交通を支える会社として、日々の業務を安全・確実に行なうことがまずなにより大切であります。

また、競争性の導入が進む名古屋市との契約をこれからも勝ち取ってゆくとともに、名古屋駅地区や栄地区で進められている街づくり、ICカードや出改札システム等で進んでいる技術開発など、社会の動きに対応しそれを社業の発展につなげながら、会社の将来を託す社員の育成に力を注いでまいります。

今後とも、市民・利用者の皆さまから信頼され、名古屋市の重要なインフラである市バス・地下鉄を支える存在であり続けられるよう、社員一丸となって努力してまいりますので、引き続き皆さまのご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年7月

株式会社 名古屋交通開発機構  
代表取締役社長 前田 務



## 創立30周年を祝して

会社創立30周年を迎えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。

貴社は、市営交通事業の健全な運営に寄与することを目的に、平成元年7月1日に発足されました。以来、当局と連携して、交通系ICカード「マナカ」の発行、サービスセンターの運営、市バス・地下鉄車両や地下鉄駅構内における広告の販売・管理、当局所有のビルや地下鉄主要駅に付設する地下街の管理運営、駅務機器や変電所の保守、市バス車両の清掃等に取り組まれ、当局の収入拡大に大きく貢献されてきました。そして平成19年には名古屋市交通局協力会の事業を引き継ぎ、また平成22年には名古屋地下鉄振興株式会社及び株式会社交通エンジニアリングと合併するなど、組織の効率化を図りながら、市営交通事業の活性化の一翼を担っていただいておりますこと、あらためて感謝申し上げる次第です。

さて、交通局では、少子化・高齢化のさらなる進行に伴う人口構造の変化や、南海トラフを震源とする大規模地震などの自然災害、訪日外国人旅行者の増加など、交通局を取り巻く様々な課題に、的確かつ計画的に対応していくため、令和元年度を初年度とする「名古屋市営交通事業経営計画2023」を策定しました。安全最優先のもと、快適さ、便利さを積極的に高めることにより、誰もが安心して利用できる市バス・地下鉄を目指しております。私どもといたしましては、今後とも貴社と連携を図りながら、お客様にとって身近で利用しやすく重要な交通手段としての役割を果たしてまいります。

貴社におかれましては、令和9年に迫ったリニア中央新幹線の開業に合わせた名古屋駅地区の地下街リニューアルへの対応など、未来を見据えた諸課題に積極的に取り組まれ、今後益々ご発展されますことを祈念いたしまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

令和元年7月

名古屋市交通局長  
河野 和彦



# DO! 30年のあゆみ

The history for 30 years

## 1. 会社創立～協力会事業の継承

### (1) 会社創立の経緯

昭和60年代、市営交通機関を始めとした地方公営企業を取り巻く環境の変化とともに、その活性化への要請が高まり、国(自治省、現総務省)において、附帯事業の実施等により地方公営企業の経営基盤を強化し、かつ活性化することを目的とした国の指針が出されました。

名古屋市交通局では、この動きに沿って市バス・地下鉄の経営基盤の安定化のために、局所有の用地・施設の有効活用による新たな附帯事業に取り組む方針を決定し、昭和63年6月1日、交通局総務課内に任意団体「名古屋交通開発機構」が設置されました。

用地・施設の有効活用やプリペイドカード「リリーカード」の販路拡張などの具体策が検討されるとともに、これら附帯事業のほか、交通局の日常業務を補完・代替する事業を円滑かつ効率的に担うことを目的とした新会社の設立に向けての準備が進められました。

翌平成元年6月16日、西尾武喜名古屋市長をはじめ発起人7名による発起人会が開催され、「名古屋市交通事業の経営改善に資する事業及び交通事業に関連する事業」の経営を行う「株式会社名古屋交通開発機構」の設立が決定されました。新会社では「市営交通事業の健全な経営に寄与すること」を目的に、不動産の管理運営事業など8つの事業を行うことが決定されました。

同年6月21日、創立総会、取締役会を開催し、本社を名古屋市中区金山一丁目17番18号の金山総合駅内に置くこととし、初代社長に西尾武喜市長を選出し、平成元年7月1日、会社の設

立登記が行われ、「株式会社名古屋交通開発機構」が誕生しました。

### (2) 創立後のあゆみ

#### ●平成元年7月 事業開始

創立当時の当社は、金山総合駅内に交通局が整備し、平成元年7月9日に供用開始となった建物「DO!金山(現在の「ループ金山」の用地に建設されていた商業施設)」のうち約600㎡を賃借し、その一角に本社事務所を構え、6名の社員で事業を始めました。

#### 【設立当時の事業内容】

広告販売

乗車券・書籍の取扱い

「DO!金山」構内のコインロッカー・飲料水自販機・自動写真機の管理運営

郵便局・名古屋市観光案内所に賃貸した建物の管理運営 など



設立時に本社のあった金山総合駅(当時) (※1)

#### ●平成元年9月 交通局指定広告代理店に指定

桜通線中村区役所・今池間の開業時に、交通局の指定広告代理店の1社として指定を受け、同線の壁面及び車内案内放送広告の一括販売を行うなど、広告販売業務を始めました。

## ●平成4年4月

### 市バス・地下鉄案内所の業務受託

交通局が東山線名古屋駅に開設した「市バス・地下鉄名古屋駅南案内所」の案内業務を受託しました。

平成6年4月に地下鉄金山駅、平成7年6月には名古屋および栄バスターミナルにも案内所が設けられ、4案内所すべての案内業務を当社が受託しました。

案内所はその後、協力会への移管等を経て、案内業務を交通局サービスセンター等で行うことや、その役割が小さくなったことにより、平成18年3月に廃止されました。

## ●平成5年11月

### 直営賃貸ビル「DO!日進」の建設着工

地下鉄日進工場に隣接した交通局所有の土地(5,500㎡)を有効活用するため、当社がこの用地を賃借し、鉄骨3階建延べ床面積8,681㎡の直営賃貸ビル「DO!日進」を建設しました。完成までに3年を要しましたが、大型家具店と家電量販店が入居しており、集客力のある大型店舗として順調に展開しています。

## ●平成6年3月

### 交通局設置賃貸ビルの管理運営

桜通線今池・野並間の開業に合わせ、交通局が建設した賃貸ビル「DO!野並」が完成し、同ビルの管理運営が当社に委ねられました。これを機に、交通局設置の賃貸ビルは、入居者の募集業務を含め、当社が一括的に管理運営することになりました。

## ●平成6年4月

### 広告管理業務の受託

交通局広告媒体に掲出する広告物の申込受付・審査・指定広告代理店への料金請求等、広告管理全般に関する業務を受託しました。

## ●平成7年4月

### 旅行代理業の開始

平成6年6月、近畿日本ツーリスト(株)から旅行代理店の提案を受け、新規直営事業として平成7年4月、近畿日本ツーリスト代理業第1号店として、平針バスターミナルの一角に「DO!平針」を開店しました。

平成8年9月には「DO!金山」、平成12年4月には「DO!藤ヶ丘ツアーズ」を開設し、3店舗体制で販売強化を図っていきました。

しかし、「DO!藤ヶ丘ツアーズ」が「愛・地球博(平成17年3月から9月まで開催)」に向けてのリリモ建設や地下鉄藤が丘駅の改修などによって平成16年5月に閉店し、「DO!金山」は平成16年6月の金山総合駅北口の「ループ金山」の供用開始に合わせて改装開店しましたが、インターネットの普及などにより、旅行商品の販売方法が大きく変化したこともあり、平成17年3月を以って閉店しました。

その後は「DO!平針」の1店舗で営業を続けてまいりましたが、平成22年1月30日に「DO!平針」も閉店し、旅行代理業は廃止されました。



DO!平針

## ●平成8年10月

### 本社移転

事業の拡張に伴い本社事務所が手狭になったことや事業の拡張に取り組むため、昭和区紅梅町にある交通局所有の建物(現在の御器所事務所)を賃借し本社を移転しました。



御器所本社(現在の御器所事務所)

## ●平成10年4月

### 市バス・地下鉄車両整備の受託

当時の交通局において、市バス・地下鉄の車両整備の外注化が検討され、平成10年4月、当社は市バス・地下鉄の車両整備業務の一部を受託することとなりました。

交通局退職者を雇用し、精通した技術と知識を活用し、交通局の事業運営の安全と効率化に寄与することが目的でした。

当初は、交通局退職者と交通局出向者で事業を開始しましたが、平成14年4月には業務範囲を拡大するとともに、社員全員が交通局退職者となるなど、交通局退職者の雇用と活用に努めてまいりました。

しかし、交通局退職者の減少に伴い、平成21年4月に受託業務の一部見直しが行われ、その後、市バス車両整備は平成22年3月31日、地下鉄車両整備は平成23年3月31日に交通局の直営業務に移行されることとなり、当社の車両整備事業は終了いたしました。



当時の市バス車両整備業

## ●平成12年10月

### 光ファイバーケーブルの敷設・保守管理

通信事業者からの地下鉄トンネル内への光ファイバーケーブルの敷設要望に応え、ケーブル敷設事業に着手しました。平成12年10月から平成14年3月までの1年半をかけて地下鉄全線に敷設しました。

敷設後、平成14年4月から平成21年度末まで定期点検などの保守管理業務を行いました。

## ●平成15年6月

### 経営改善計画の策定

外郭団体の抜本的見直しを図ること等を目的に平成14年に名古屋市が策定した「外郭団体点検指針」及び「外郭団体改革実行プラン」に沿って、経営改善計画を策定し、会社の経営基盤の改善・強化に取り組みました。

平成21年には「外郭団体の徹底検証」により、市と外郭団体との随意契約を見直すこととなり、その後、順次当社と交通局の間の随意契約も見直しが行われました。

また同年、名古屋市から「外郭団体のあり方」が示され、その中では、「交通事業の健全な経営に資するよう(株)名古屋交通開発機構を積極的に活用していく必要がある」とされ、当社の自主的・自立的な経営改善の促進が求められたことから、平成23年以降は経営戦略計画を策定し、競争力、信用力の向上や財政基盤の強化などに取り組んでいます。

## ●平成16年4月

### 交通局有効活用資産の管理運営業務の一元化

協力が建設し賃貸していた本山駅店舗ビルを買い取るとともに、交通局建設の賃貸ビル(黒川ターミナルビル、上飯田ターミナルビル)の管理運営業務が協力会から当社に移管されました。これに



より、交通局所有の有効活用資産の管理運営業務が当社に一元化されました。

## ●平成19年2月

### 広告媒体「ビッグウォール」設置

当社は地下鉄主要駅への「街角かわら版」設置など、広告媒体を増設し、広告販売の拡大に取り組んできました。

平成19年2月、広告販売のさらなる拡大を図るため、東山線名古屋駅の藤が丘方面のホームに大型広告ボード「ビッグウォール」を設置しました。

## ●平成19年4月

### 協力会事業の引継ぎ

社団法人名古屋市交通局協力会は、昭和24年10月に創立されて以来、様々な事業を行い、市営交通事業の一翼を担ってきました。その協力会は、公益法人改革への対応や市営交通事業の一層の効率化への寄与という観点から、平成19年3月31日をもって解散し、当社は、協力会が実施してきた各事業を引き継ぎました。

#### 【協力会から引き継いだ主な事業】

- ・広告取扱(広告物の受付・着脱など)
- ・乗車券取扱(交通局サービスセンターの運営など)
- ・地下鉄駅・市バス車両等の清掃
- ・利便施設(コインロッカー等)の管理運営

## ●平成19年6月

### ICカード事業運営会社の指定を受ける

交通局は平成22年度に市バス、地下鉄にICカード乗車券を導入することを決定し、当社は交通局からICカード事業の運営会社として指定を受けました。

運営会社として、ICカード乗車券の発行業務、参加事業者からのカード利用データの集約・管理、ICカード乗車券センターシステムの運營業

務などの事業を行うこととなり、平成22年度の稼働に向けた準備が始まりました。

## ●平成19年10月

### 本社移転・事務所統合

協力会業務の引継ぎに伴う事業拡大に合わせ、昭和区御器所通3丁目12番地の猪高営業所御器所分所内(現在の御器所営業所)の一角を整備し、ここに本社を移転しました。これに伴い、従来の本社を西館とし、西館敷地内に分室を整備するなど事務所を統合しました。なお、これにより暫定的に使用していた黒川事務所(旧協力会本部)は廃止されました。



御器所本社(当時)

## ●平成20年10月

### ATM設置と管理運營業務の開始

金融機関の現金自動預払機(ATM)を地下鉄金山駅・大曽根駅に設置し、ATMの設置・管理運營業務を始めました。

## ●平成22年3月

### 地下鉄駅清掃業務の受託終了

昭和58年4月に協力会が受託し、その後当社が引き継いだ地下鉄駅構内清掃業務の受託が終了しました。



地下鉄駅清掃

## 2.三社合併～現在

### ●平成22年4月 三社合併

名古屋地下鉄振興(株)は市営地下鉄開業の昭和32年に設立され、地下鉄名古屋駅など主要駅に敷設された地下街等を管理・運営し、地下鉄利用者の利便向上に寄与してきました。

(株)交通エンジニアリングは、地下鉄の自動改札システム導入を契機とした昭和52年に設立され、地下鉄自動改札機や自動券売機等の保守、エレベーター・エスカレーターの保守、地下鉄変電所の保守を交通局から受託してきました。

平成22年4月、この2社と当社を含めた交通局関連の3社は事業規模の拡大及びスケールメリットを活かした組織の効率化、類似、重複する事業の整理による経営基盤の強化・安定化を目的として、名古屋市交通局を始めとする関係各位の指導と協力の下で合併することとなり、当社は2社の事業を引き継ぎ、新たなスタートを切ることになりました。

2社から継承した事業は次の通りです。

#### 名古屋地下鉄振興(株)からの継承事業

- ・地下街等の店舗管理
- ・直営店「チカシン」の営業
- ・各地下街等の施設・防災管理

#### (株)交通エンジニアリングからの継承事業

- ・地下鉄自動改札機・自動券売機・定期券発行機等駅務機器の保守
- ・地下鉄変電所の保守  
(エレベーター・エスカレーターの保守は合併前の平成22年3月末をもって終了)

### ●平成22年6月 事業部の集積・移転

3社合併後の事務の効率化を図るため、池下事務所を改装し、各部を移転しました。

- ・御器所(本社):総務部・広告事業部  
(西館):ICシステム部・乗車券部・環境部
- ・池下事務所:総務部・直営事業部・ビル管理部・地下街管理部・整備部
- ・栄営業所:地下街管理部



池下事務所(池下ビル内)

### ●平成23年2月 ICカード「manaca」サービス開始

「日本の真ん中をつなぎ、くらしの真ん中をつなぐICカード」を名称の由来とし、定期券、乗車券としてだけでなく、電子マネーとしても利用できるICカード、「manaca(マナカ)」(以下「マナカ」という。)のサービスが開始されました。

サービス開始以来、当社ではセンターシステムの維持管理や出納精算などのシステム運営、カード発行、電子マネー事業、その他「マナカ」を利用した各種サービスの提供を行っております。

平成24年4月には東海旅客鉄道(株)の「TOICA」との乗車券機能の相互利用サービスを開始し、平成25年3月には全国10の交

通系事業者エリアの鉄道・バス及び電子マネー加盟店での電子マネーの相互利用が可能になりました。



ICカード「マナカ」

●平成23年4月  
野並-徳重間の開業  
(変電所保守業務の拡大)

平成23年3月27日に地下鉄桜通線の野並-徳重間が開業したことにより、変電所の保守業務の範囲が拡大しました。

●平成24年11月  
交通局サービスセンター縮小

昭和25年10月より交通局の乗車券発行所(現在の「交通局サービスセンター」)の運営を協力が会が受託しており、平成19年に当社が運営を引き継ぎました。

平成24年、9箇所あったサービスセンターは縮小が行われ、名古屋・栄・金山の3箇所で運営されることになりました。また、同年4月に受託した交通局のお忘れ物取扱業務についても、同年11月にお忘れ物取扱所が市役所から栄サービスセンターに移転・併設されました。

なお、交通局サービスセンターでは、平成24年4月からクレジットカード支払による定期券発行サービスを開始しました。

【廃止された交通局サービスセンター】

- 平成24年 4月28日 今池・星ヶ丘・八事
- 平成24年 5月31日 新瑞橋

平成24年11月22日 伏見  
平成24年11月24日 大曽根  
(以後、名古屋・栄・金山の3箇所体制で運営)

●平成25年3月  
今池・千種地下街の廃止

昭和35年6月に開業した今池地下街と千種地下街は、名古屋地下鉄振興(株)が管理をしていました。合併と同時に当社が引き継ぎましたが、利用者の減少等を理由に閉鎖することとなりました。

●平成26年3月  
市営交通資料センター並びに市電・地下鉄保存館の運營業務の廃止

平成17年4月に協力が会が受託し、その後当社が引き継いだ市営交通資料センター(地下鉄丸の内または久屋大通駅より徒歩5分)と市電・地下鉄保存館(交通局日進工場施設内)の管理運營業務が交通局の直営化に伴い、廃止されました。

●平成29年8月  
変電所設備等更新工事の施工管理業務の受託

変電所設備等更新工事の施工管理業務の受託を開始しました。

●平成29年10月  
本社機能の集約

平成22年の三社合併以降、本社機能は御器所事務所と池下事務所に分かれていました



が、池下事務所を改装し、バリアフリー対応にするとともに、本社機能を池下へ集約しました。

池下本社：総務部・販売サービス事業部・  
施設部・不動産管理部・整備部  
御器所事務所：I Cシステム部・乗車券環境部・  
広告事業部  
栄営業所：不動産管理部



池下本社内 入口

## ●平成29年11月 名古屋地下鉄地下街開業60周年

昭和32年11月の地下鉄東山線開業とともにオープンした名駅地下街(メイチカ)と栄地下街(森の地下街)が開業60周年を迎えました。

地下街と同じく60周年を迎えた地下鉄とのコラボレーション企画(記念展)や地下街開業60周年の記念式典などが開催されました。



地下街開業60周年記念式典

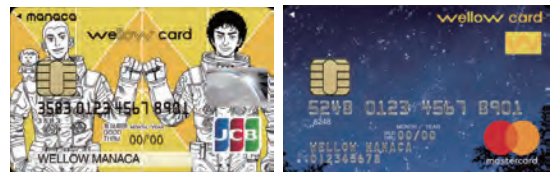


開業60周年記念展

## ●平成30年3月

### 「wellow card manaca/wellow card」の発行

平成30年3月より開始された地下鉄でのオートチャージサービスに伴い、クレジットカードとマナカが一体となったwellow card manaca(ワイロカードマナカ)と既存のマナカとリンクすることによりオートチャージサービスが利用可能となるwellow card(ワイロカード)を(株)オリエントコーポレーションと提携し、発行を開始しました。



wellow card manaca/wellow card

## ●平成30年6月 栄営業所の移転

昭和41年以降、名古屋地下鉄振興(株)の本社として、合併後は当社営業所として稼働してきた栄営業所(中日ビル8階)が、中日ビルの建て替えに伴い、明治安田生命ビル6階へ移転しました。

## ●令和元年7月

当社は創立30周年を迎えました。



## ● 主なできごと ●

平成元年6月21日	創立総会及び取締役会を開催
平成元年7月1日	株式会社名古屋交通開発機構創立・事業開始 本社所在地:名古屋市中区金山一丁目17番18号金山総合駅内
平成元年9月10日	交通局の指定広告代理店の指定を受ける
平成4年4月1日	交通局設置の「市バス・地下鉄名古屋駅南案内所」の業務を受託 平成7年6月には4案内所となる 平成18年3月までに順次廃止
平成5年11月1日	当社建設賃貸ビル「DO!日進」開設
平成6年3月30日	交通局建設賃貸ビル「DO!野並」開設 以後交通局賃貸ビルは入居者募集を含む一括的な管理運営を実施
平成6年4月1日	交通局広告媒体及び掲出広告物の管理業務を受託
平成7年4月22日	「DO!平針」において旅行代理業を開始 平成12年4月には3店舗で営業 平成22年1月までに順次廃止
平成8年10月1日	本社を名古屋市昭和区紅梅町三丁目10番地に移転
平成10年4月1日	市バス車両及び地下鉄車両の整備業務を受託 市バス車両整備は平成22年3月、地下鉄車両整備は平成23年3月に交通局の直営業務に移行
平成12年10月28日	地下鉄トンネル内への光ファイバーケーブル敷設事業着手 平成14年3月末敷設完了、同年4月1日保守管理事業を開始(平成21年度末終了)
平成16年4月1日	協力会の「本山駅店舗ビル」を譲り受け、協力会の2つの交通局賃貸ビルの管理運営が当社に移管 交通局賃貸ビルの管理運営が当社に一元化される
平成19年2月26日	東山線名古屋駅に当社広告枠「ビッグウォール」を設置
平成19年3月31日	協力会(昭和24年10月24日創立)が事業を廃止
平成19年4月1日	協力会廃止時における事業の全てを継承
平成19年6月5日	ICカード乗車券運営会社として交通局から指定を受ける
平成19年10月1日	本社を名古屋市昭和区御器所通三丁目12番地に移転
平成20年10月27日	金融機関ATMの設置及び管理運営業務を開始
平成22年4月1日	名古屋地下鉄振興(株)(昭和32年6月26日創立)・(株)交通エンジニアリング(昭和52年10月1日創立)と合併し、両社の事業を継承
平成23年2月11日	ICカード『manaカ』サービスイン
平成24年4月～11月	交通局サービスセンター縮小 名古屋・栄・金山の3箇所運営となる
平成25年3月31日	今池地下街・千種地下街の閉鎖
平成26年3月31日	市営交通資料センターと市電・地下鉄保存館の運営業務が交通局の直営業務に移行
平成29年10月1日	本社を名古屋市千種区覚王山通七丁目11番地に移転
平成29年11月15日	名古屋地下鉄地下街開業60周年記念式典開催
平成30年3月14日	wellow card manaca/wellow cardの発売開始
令和元年7月1日	創立30周年



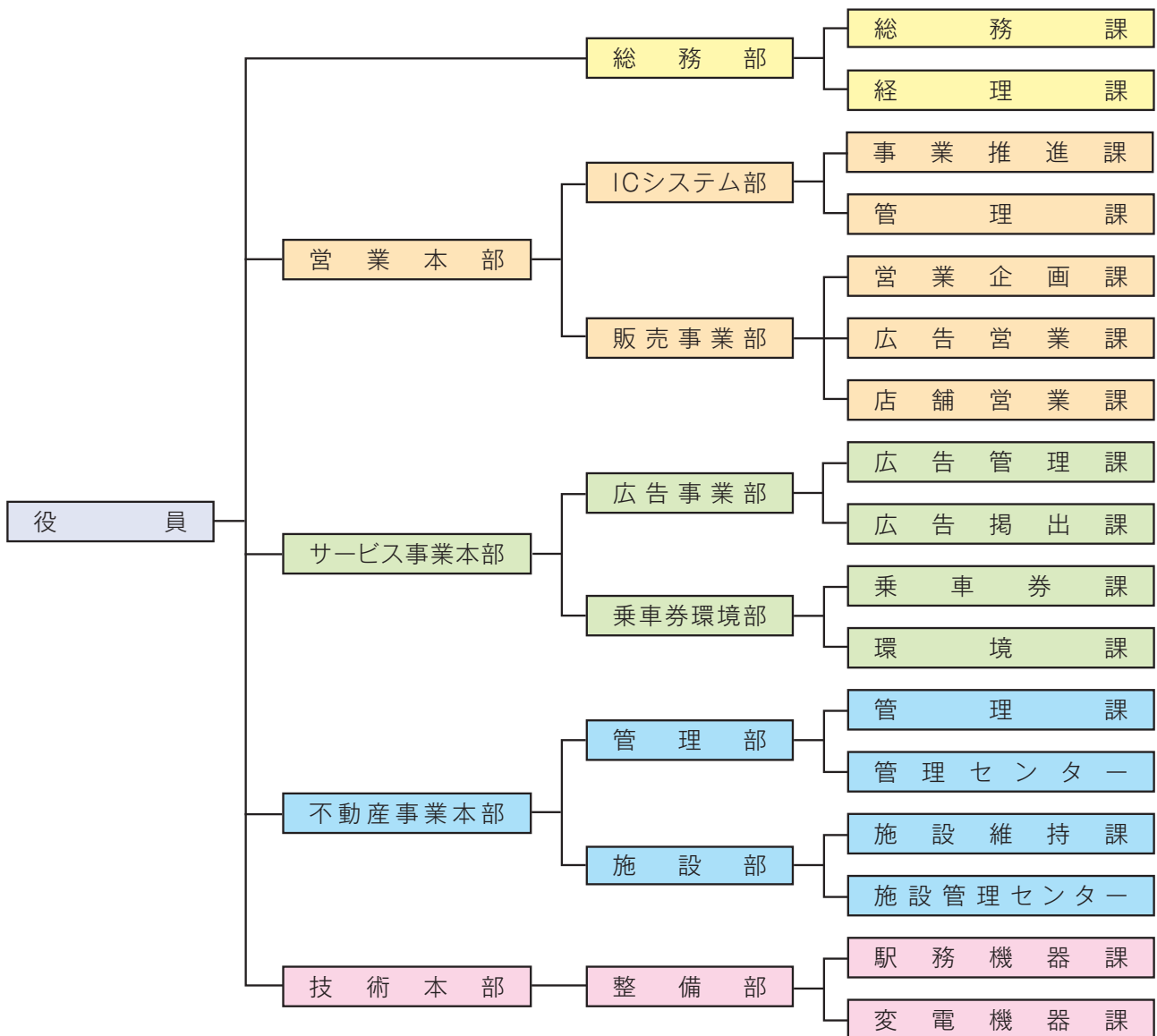
## 会社概要

The company profile

商 号	株式会社名古屋交通開発機構
本社所在地	名古屋市千種区覚王山通七丁目11番地 TEL(052)761-2221(代表) FAX(052)762-3411 <a href="https://www.do758.co.jp/">https://www.do758.co.jp/</a>
設立年月日	平成元年7月1日
資 本 金	1億円
発行済株式	総数2,000株(授權資本金8,000株 4億円)
株 主	名古屋市
設立目的	名古屋市交通事業の経営改善に資する事業及び交通事業に関連する事業の経営を行い、市営交通事業の健全な経営に寄与する。
事業内容	ターミナルビル等の管理・運營業務 地下街商店街等の賃貸・管理運營業務 自動車駐車場等の管理運營業務 宅地建物取引業 市バス地下鉄乗車券・定期券の販売 市バス車両等の清掃 ICカード乗車券発行・料金の出納等の業務 乗車券発売機・自動集改札装置等駅務機器の保守管理 地下鉄変電所の受変電機器の保守管理 公営交通広告全般の販売・管理 宝くじ・その他物品の販売 コインロッカー等の管理 警備業
従業員数	372名(平成31年4月1日現在) 固有155名、嘱託73名、パート・フルパート130名、その他14名
売上高	約55億円(平成30年度)
組織	
○役員	8名(令和元年7月1日現在) 代表取締役社長(常勤) 前田 務 専務取締役(常勤) 今枝 茂 常務取締役(常勤) 三浦 順司 取締役(常勤) 今井 忍 取締役(非常勤) 河野 和彦(交通局長) 取締役(非常勤) 山田 淳(緑政土木局長) 取締役(非常勤) 高木 宏明(住宅都市局まちづくり調整監) 監査役(非常勤) 神谷 紀子(税理士)

○組織図

(令和元年7月1日現在)



## 1. ICカードシステム事業

### (1) ICカード事業



(ホームページ: <http://www.manaca.jp/>)

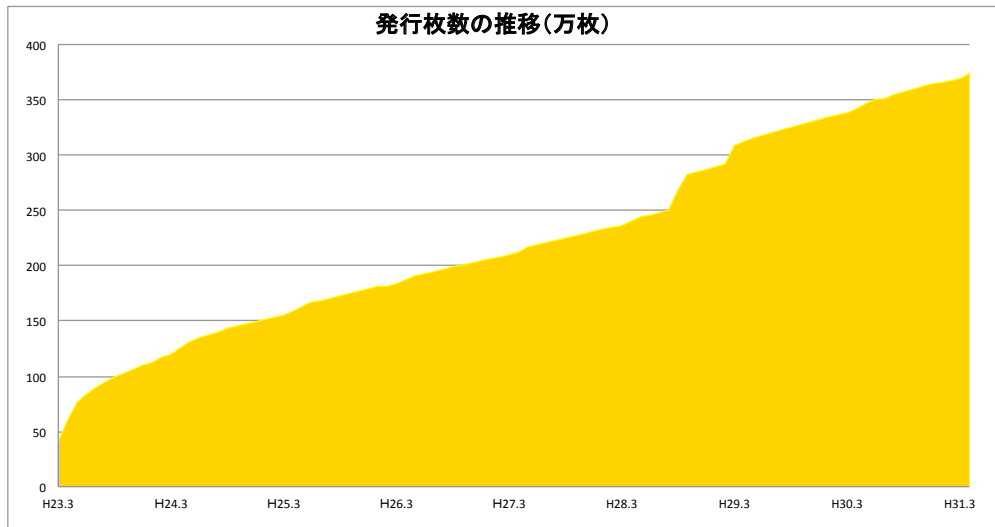
#### ①システム運営

平成23年2月に交通局など複数の東海地方の交通事業者が導入した交通系ICカード乗車券「manaca(マナカ)」の運営会社として、利用者のカード登録情報や市バス・地下鉄などの利用情報等を管理するセンターシステムの維持管理、交通局などとの料金やチャージ金等の出納及び精算など、システム運営を行っています。

#### ②カード発行

交通系ICカードは、交通局など複数の交通事業者が、統一仕様のカードを使用するため、当社がカード発行会社としてマナカを作成・発行し、利用者にカードを貸与しています。また、平成28年9月よりICカード化された敬老パス・福祉特別乗車券についても、当社がカードを作成しています。

当社発行枚数は平成31年3月末時点で374万枚を突破。









### (2) 電子マネー事業

マナカは乗車券としての機能のほか、電子マネー機能も有しており、電子マネーの利用について、出納及び精算を行うとともに、電子マネーが使える店舗の開拓も行っています。



### (3) クレジットカード事業

平成30年3月より、地下鉄でのオートチャージサービス開始に伴い、クレジットカードとマナカが一体となったwellow card manaca(クレジットカード一体型マナカ)及び既存の当社発行マナカとリンクすることによりオートチャージサービスが利用可能なwellow card(マナカリンク型クレジットカード)を、(株)オリエントコーポレーションと提携し発行しています。

クレジットカードの概要		新しい便利が始まる！！オートチャージサービス！！			
種別	クレジットカード一体型マナカ			マナカリンク型クレジットカード	
カード名称	wellow card manaca (ウィロー カード マナカ)			wellow card (ウィロー カード)	
名称ロゴ及びブランドマーク					
カードブランド及びカードフェイス	Mastercard	Visa	JCB	Mastercard	
	【星空】 	【星空】 	【宇宙兄弟①】 	【星空】 	【宇宙兄弟②】 
ホームページ	<a href="https://www.wellow.jp/">https://www.wellow.jp/</a>				

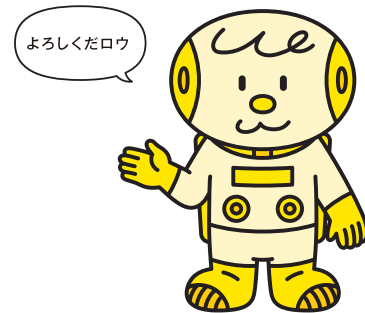
#### ◇カードフェイスについて

本デザインは、漫画家の小山宙哉氏及びクリエイティブディレクターの水野学氏にご協力いただいたものであり、小山氏の漫画『宇宙兄弟』のキャラクターを起用したデザインのカードも発行しています。

#### ◇wellow公式キャラクター『ウィローちゃん』

wellow card manaca/wellow cardのオリジナルキャラクター、ウィローちゃんが誕生しました。

のんびり屋でちょっと天然の宇宙飛行士です。



『ウィローちゃん』

## (4) その他の事業

### ①オリジナルマナカの制作

企業等と提携しオリジナルデザインのマナカを販売しています。



全国相互利用記念manaca  
(平成25年3月)



グランバスmanaca  
(平成28年4月)



ドアラmanaca  
(平成28年10月)

### ②公共交通利用促進事業

マナカのカード内に書き込まれた利用履歴を読み取り、指定した駅等における乗降車の有無を判定して表示する装置を、エコ来場の利用促進を強化している施設等へ貸し出すサービスです。イベント等の主催者が、判定結果に応じてポイントや景品などの特典を提供することで、エコ来場の促進を呼び掛けています。

「メッセナゴヤ」では、平成24年以降毎年会場タッチ&エコのサービスが実施されています。また、(株)ジェイアール東日本企画のサービスであるSF\*UNITYの代理店として、より高機能な端末の大型商業施設への貸し出しを行っています。平成26年6月からイオンモール名古屋茶屋をはじめ7施設でご利用いただいています。



SF\*UNITY



タッチ&エコ

### ③みまもりタッチ

登下校の際、児童が通学で使用するマナカを小学校のエントランスに設置された読取端末にタッチすると、事前に登録された保護者の携帯電話等の電子メールアドレス宛にタッチしたことを通知する、安心・安全をサポートするシステムです。これにより、保護者は児童が「小学校に登校したこと」、「小学校を下校したこと」をリアルタイムで確認できます。平成25年1月から南山大学附属小学校でサービスを開始しました。



みまもりタッチ

#### ④身分証一体型マナカ事業

マナカの裏面に身分証を搭載した一体型マナカを大学(学生)等に提供する事業で、当社がプリンタを保有し、カード調達、印刷、納入等の一連の作業を行います。平成25年4月より名古屋市立大学の学生証の発行をしており、一枚のカードで身分証、定期券や電子マネーの機能のほか、図書館での図書の貸出し、パソコンへのログイン、入退室管理、証明書発行機の認証などにも活用されています。



マナカ学生証(名古屋市立大学)

#### ⑤敬老パス・福祉特別乗車券事業

平成28年9月より、高齢者が一定の負担金を納付することで地下鉄や市バス等が無料で乗車できる「敬老パス」がマナカ化されました。また、福祉特別乗車券についてもマナカ化されています。両カードのマナカ化に伴い、健康福祉局等より封入封緘及び発送業務を受託し、作業を行っています。



敬老パス

#### ⑥カード機能等利用許諾事業

マナカの商標及びカード機能についての使用許諾を行っています。マナカのICカードとしての機能を活用したコインロッカーの認証鍵や出退勤管理システム等、平成31年3月時点で22件のご利用をいただいています。



コインロッカー



出退勤管理システム



## 2. サービスセンター運営事業

### (1) 交通局サービスセンター運営業務

名古屋、栄、金山の地下鉄駅構内の交通局サービスセンター(以下「サービスセンター」という。)において、定期券等の発売および交通局関係の案内業務・改札業務を交通局から受託しています(改札業務は栄サービスセンターのみ)。

#### ◇交通局サービスセンター

「サービスセンター」は、昭和25年1月、協力会が交通局の許可を受けて乗車券の取扱事業を開始し、同年10月から「乗車券発行所」の運営を交通局から受託したことがはじまりです。

乗車券発売にとどまらず、総合案内窓口としての役割も担うという交通局の方針の下、「乗車券発行所」は「サービスセンター」へ名称を変えることとなり、平成13年2月の金山乗車券発行所を皮切りに、すべての乗車券発行所が「サービスセンター」に改称されました。

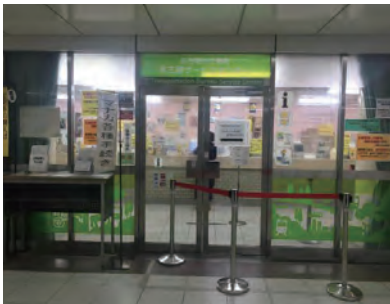
平成19年4月、協力会のサービスセンター運営業務は当社に引き継がれ、平成24年のサービスセンターの縮小により、9箇所あったサービスセンターは3箇所に集約され、現在に至ります。

地下鉄駅長室では取り扱っていないクレジットカード支払による定期券発行サービスや、交通局グッズ・美術館等の前売券などの販売も行っています。

### (2) 交通局お忘れ物取扱業務

平成24年4月より受託を開始した業務です。「交通局お忘れ物取扱所」において、地下鉄・市バス施設で発生したお忘れ物の問合せ対応及び返還業務等を行っています。受託当初の取扱所は市役所の西庁舎2階にありましたが、同年11月から栄サービスセンター隣に移転して運営を行っています。

#### 【交通局サービスセンター・お忘れ物取扱所】



【名古屋サービスセンター】  
営業時間:8時～20時  
休業日:1月1日・2日  
(1月3日の営業時間は10時～17時)



【栄サービスセンター】  
営業時間:9時～20時  
休業日:1月1日・2日  
(1月3日の営業時間は10時～17時)  
※お忘れ物取扱所 併設



【金山サービスセンター】  
営業時間:8時～20時  
休業日:1月1日・2日  
(1月3日の営業時間は10時～17時)



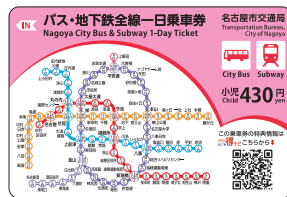
### (3) 乗車券販売業務

平成19年4月より協力会事業の継承に伴い受託を開始した事業です。乗車券購入の利便性向上を図るため、交通局は市内各所に乗車券の委託販売店を置いており、これら委託販売店への乗車券の配達と料金徴収業務を行っています。

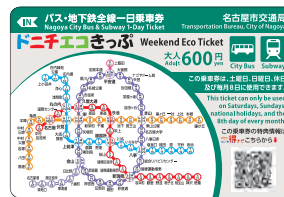
市内の委託販売店(コンビニエンスストアを含む)に一日乗車券等を販売しているほか、ホテル等への一日乗車券等の配布及び集金業務も行っています。

### (4) 乗車券関連業務

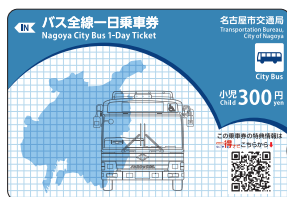
平成19年4月より協力会事業の継承に伴い業務を引継ぎ、マナカ・一日乗車券等への情報入力業務、および管理業務を受託しています。



◆ バス・地下鉄全線 一日乗車券 ◆  
大人850円  
小児430円  
市バス・地下鉄が1日乗り放題



◆ ドニチエコきっぷ ◆  
大人600円  
小児300円  
土曜日・日曜日・休日・毎月8日は  
市バス・地下鉄が1日乗り放題



◆ バス全線 一日乗車券 ◆  
大人600円  
小児300円  
市バスが1日乗り放題



◆ 地下鉄全線24時間券 ◆  
大人740円  
小児370円  
地下鉄が24時間乗り放題



◆ マナカチャージ券 ◆  
1,000円

### 3. 販売・サービス事業

販売・サービス事業は、コインロッカーやATM設置事業といった利便施設関連、直営店舗運営、広告販売が主な事業です。

#### (1) コインロッカー事業

コインロッカー事業は、昭和41年11月に協力会が東山線本山駅構内にコインロッカーを3台設置したことから始まります。名古屋、金山、栄駅等の主要駅から設置を進め、昭和46年には設置台数が100台を超えるまでになり、これらの管理運営を協力会が行ってきました。

当社は、平成元年7月の会社設立時より、当時の本社があった「DO! 金山」構内にコインロッカーを設置していましたが、平成19年4月に協力会の事業を継承したことにより事業規模が大幅に拡大されました。

事業引き継ぎ後は、ロッカーの増設、大型ロッカーやICカード対応ロッカーの設置など、お客様の要望に応えられるよう、事業を展開しています。

現在は地下鉄84駅及びループ金山構内に755台(うちICカード対応機96台)のコインロッカーを設置しています。



名古屋駅



大型ロッカー



ICカード対応ロッカー

## (2) 公衆電話管理事業

平成元年7月の会社設立と同時に開始した事業で、地下鉄駅構内を中心に設置した公衆電話の管理をしています。携帯電話の普及により、設置数は減少していますが、非常時などには必要な存在です。現在は、地下鉄85駅及びループ金山構内に155台の公衆電話を設置しています。



公衆電話

## (3) 利便施設事業

平成元年7月、会社設立と同時に「DO！金山」に飲料・写真の自動販売機を設置し、事業を開始しました。平成22年4月、名古屋地下鉄振興(株)との合併により設置場所・台数が増加し、現在では、飲料自販機21台、自動写真機1台を設置しています。



飲料自販機

## (4) 現金自動預払機(ATM)設置事業

平成20年度から、地下鉄駅やバスターミナル利用者の利便向上と新規の直営事業の拡大を図るために開始した事業です。

平成20年10月に地下鉄金山駅及び大曽根駅で設置を開始し、現在は地下鉄34駅及び市バスターミナル2箇所に58台のATMを設置しています。



桜山駅



名古屋駅



栄駅

(設置場所・台数は平成31年3月31日時点のものです。)



## (5) 直営店舗事業

### 【事業のあゆみ】

直営店舗事業は、昭和32年11月15日の名駅地下街と栄町地下街の開業と同時に、名古屋地下鉄振興(株)が各地下街に1店舗ずつ直営店舗を構えて営業を開始したことが始まりです。

創業当時からたばこ、菓子類、土産品などを販売し、地下鉄利用者や旅行者の利便性向上を図るとともに、地下鉄の延長に伴い、主要駅に順次直営店舗を増設し、昭和46年頃には25店舗を営業していました。その当時は物品販売以外に軽食・喫茶などの飲食店も経営し、当時の名古屋地下鉄振興(株)の売上高の70%近くを占めるようになりました。

その後、直営店舗は賃貸店舗への切り替えや地下街廃止に伴う閉店、平成22年4月の当社への事業継承などを経て、現在は名駅地下街(メイチカ)にレグウェアの専門店「カトレヤ店」のほか1店舗と、栄地下街(森の地下街)に宝くじ・たばこ・菓子等を扱う直営売店「チカシン」を2店舗営業しています。



開業当時の名駅カトレヤ店

### 【店舗の紹介】

#### ◇名駅カトレヤ店

「お洒落は足元から」をモットーに、レグウェア専門店として、名駅地下街(メイチカ)内に店舗を構えています。地下鉄名古屋駅南改札口正面すぐであり、アクセスも抜群です。

レグウェア専門店として名古屋駅地区では屈指の品揃えで、主に女性もののストッキング・靴下・ルームウェア・子供用の靴下を扱っています。ストッキングが伝線した時などの履き替えスペースも完備するなど、お客様のニーズに幅広くお応えできる店舗です。平成28年8月から店舗の認知度向上のため、ホームページを開設しています。



現在の名駅カトレヤ店

- 営業時間 7:30~20:30
- 取扱商品 ストッキング・靴下(婦人・紳士・ベビー・キッズ)・レギンス・トレンカ・インナー・ルームウェア・スポーツインナー・雑貨(ハンカチ・ハンドタオル・エコバック・エプロン)
- ホームページ <http://cattleya.nagoya/>



### ◇名駅北店

地下鉄名古屋駅中改札口正面にあり、宝くじ・たばこ・飲料などを販売しており、朝夕の地下鉄・JR・名鉄・近鉄への乗り換えのお客様を中心にご利用いただいています。

多くの方が利用される名古屋の玄関口で長年営業し、コンビニ激戦区にありながら地域の皆様にも親しまれている店舗です。

- 営業時間 7:30～20:30
- 取扱商品 たばこ・宝くじ・飲料・菓子・新聞・雑貨・スポーツ振興くじ



名駅北店

### ◇栄宝くじ本店

地下鉄栄駅中改札口付近で営業し、多くの常連客に親しまれている宝くじ専門店です。過去にはジャンボ宝くじ1等を出した事もあり、多くの方が宝くじを買い求め、行列をなす事もあります。また当店では、スポーツくじも併せて販売しており、宝くじファンにおいては無くてはならない店舗です。

- 営業時間 10:00～18:30
- 取扱商品 宝くじ・スポーツ振興くじ



栄宝くじ本店

### ◇栄中央一番街店

栄地下街(森の地下街)の西に店舗を構え、近隣のオフィスや歓楽街に向かう方の来店が多く、近年では訪日外国人観光客の利用も増えつつあります。平日、休日問わず多くのお客様で賑わっており、来店客数では直営店舗の中で一番多く、平日は約850人、休日は約750人のお客様のご利用があります。

当店では、たばこ・飲食物品・雑貨用品など、お客様のニーズに合った商品が充実しており、利便向上に寄与しています。

また、平成22年には店舗の装いを新たにし、平成25年には店舗を拡張して現在に至っています。

- 営業時間 7:30～20:30
- 取扱商品 たばこ・宝くじ・飲料・食品・菓子・新聞・雑貨



栄中央一番街店

## (6) 広告販売事業

広告販売事業は、会社設立当初から経営の基盤を成す事業であり、平成元年9月の桜通線の開業に合わせ、交通局指定広告代理店(平成23年度より、交通局契約広告取扱者)として営業活動を開始しました。

広告媒体としては、桜通線全駅及び名城線10駅(ナゴヤドーム前矢田駅～瑞穂運動場東駅間)の壁面広告と桜通線車内案内放送広告の販売権を交通局から買取り主体的に扱うほか、当社独自の広告媒体「タウンガイド広告(街角かわら版)」を主要駅の改札口付近に設置し、販売を行っています。

また、平成22年4月の名古屋地下鉄振興(株)との合併により、栄地下街(森の地下街)等の壁面広告を引き継ぎ、さらに平成30年度の栄北地下街リニューアル改修工事に併せ新たな広告枠を設置し、販売を行っています。



タウンガイド広告



名鉄瀬戸線前 柱広告



栄北ビッグボード

## 4. 広告管理事業

### (1) 広告管理業務

平成6年度から交通局より広告の管理業務を当社が全面的に受託しています。

主な業務の内容は以下のとおりです。

- 1 広告の募集・受付
- 2 広告料金等の請求及び収納
- 3 広告の審査
- 4 広告・空枠・広告媒体の管理

なお、平成13年3月より名古屋ガイドウェイバス(株)から、平成16年10月より名古屋臨海高速鉄道(株)から、それぞれ広告管理業務を受託しています。

主な広告媒体(名古屋市交通局)

市バス	地下鉄	
額面広告	中吊広告	名古屋駅ビッグウォールセット広告
窓ステッカー広告	額面広告	駅マルチ広告
マナーステッカー広告	横枠広告	集中貼広告
後部ステッカー広告	広告貸切電車	名古屋駅ツインボード広告
外側板広告	ツインステッカー広告	グランドボード広告
バス車体利用広告	扉ステッカー広告	名古屋駅サンフラワーボード広告
	窓ステッカー広告	スクエアビジョン広告
	妻部ステッカー広告	名古屋駅サンピラー広告
	ホーム柵ステッカー広告	名古屋駅ピラーボード広告
	壁面広告	地下鉄車体利用広告



## (2) 広告取扱業務

交通局からの受託業務として、平成19年4月に協力会から業務を引き継ぎ、地下鉄に関しては地下鉄車内の中吊を中心とした広告と地下鉄駅構内の集中貼広告などの着脱業務を行っています。また市バスに関しては委託営業所を除く7営業所において着脱業務を行っています。

これらの業務を実施するため、作業本部を御器所に設置し、東山線は藤が丘工場・高畑駅、名城線はナゴヤドーム前矢田駅、鶴舞線は日進工場、桜通線は徳重駅の計5箇所に作業基地を設けています。

### 【作業風景】



ポスター計数作業



中吊仕分け作業



集中貼掲出作業



中吊ポスター着脱作業



**DO!** 事業の紹介  
The introduction of the business

## 5. ビル管理事業

ビル管理事業は、当社所有の賃貸物件の管理運営、交通局が整備した有効活用資産の管理運営が主な事業です。

### (1) 当社所有の賃貸物件の管理運営

交通局所有未利用地の有効活用と当社の経営基盤の強化を目的として、未利用地を賃借するなどし、当社の資金で建設した物件について、賃貸および管理運営をしています。

#### 当社所有物件(4箇所)

名称	池下ビル(チカシン池下)	
所在地	千種区覚王山通7丁目11番地	
敷地面積	4,403㎡	
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造、地下2階地上12階建	
賃貸延床面積	1,261㎡	
建物概要	 <p>貸店舗/事務所/地下駐車場/住宅 (交通局施設・市営住宅と併設)</p>	
駐車場	—	
開業	昭59.9	






名称	千種ビル	本山駅店舗	DO!日進
所在地	東区葵3丁目24番2号	千種区末盛通五丁目17番地	日進市浅田美濃輪6番の1他
敷地面積	93㎡	194㎡	6,473㎡
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階建(地下鉄出入口合築)	鉄骨造 地上2階建	鉄骨造 地上3階建
賃貸延床面積	192㎡	301㎡	9.77㎡(含倉庫)
建物概要	 <p>貸店舗</p>	 <p>貸店舗</p>	 <p>貸店舗</p>
駐車場	—	—	屋外90台、臨時屋外50台
開業	昭43.12	昭49.10	平5.11

## (2) 交通局有効活用資産の管理運営

交通局が地下鉄駅やバスターミナルなど立地の利点を活かして資産を有効活用するために建設した物件について、当社が一括して賃貸を受け、入居者の募集から賃料の徴収、物件の修繕等、総合的に管理運営しています。

### 交通局有効活用資産 (15箇所)

名称	ループ金山	御器所ステーションビル	原ターミナルビル
所在地	中区金山一丁目17番18号	昭和区御器所通3丁目12番地	天白区原一丁目301番地
敷地面積	1,701㎡	8,593㎡	2,638㎡
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下3階、地上3階建	鉄筋コンクリート造 地下1階、地上13階建	鉄筋コンクリート造 地下1階、地上5階建
賃貸延床面積	1,838㎡	2,243㎡	2,635㎡
建物概要	 貸店舗/貸事務所	 貸店舗/貸事務所/バス営業所 高齢者就業支援センター/住宅	 貸店舗/貸事務所/バスターミナル 文化小劇場
駐車場	—	66台	16台
開業	平元.7 / 平16.6改築 / 平17.2地下改築	平9.4	平9.4

名称	上社ターミナルビル	八事駅店舗	赤池駅構内店舗
所在地	名東区上社一丁目802番地	天白区石坂101,102,103番地	日進市赤池一丁目1503番地
敷地面積	6,785㎡	270㎡	3,979㎡
構造規模	鉄筋コンクリート造 地下2階、地上8階建	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階建	鉄筋コンクリート造 地上3階建
賃貸延床面積	929㎡	483㎡	754㎡
建物概要	 貸事務所/バスターミナル/文化小劇場/レクリエーション ルーム/住宅/店舗/自転車駐車場/雨水調節池	 貸店舗	 貸店舗(銀行)
駐車場	屋外42台	—	—
開業	平10.4	昭52.5	平4.5

名称	DO！野並	八事ビル	平針駅南ビル
所在地	天白区野並三丁目412番地の1	昭和区広路町北石坂102番地142他	天白区平針二丁目1903番
敷地面積	480㎡	114㎡	956㎡
構造規模	鉄筋コンクリート造 地上5階建	鉄骨造 地上2階建	鉄骨造 地上2階建
賃貸延床面積	1,113㎡	148㎡	287㎡
建物概要	 貸店舗/貸事務所	 貸店舗	 貸店舗/自転車駐車場
駐車場	屋外14台	—	屋外6台
開業	平6.3	平9.4	平14.7

名称	いりなか駅ビル	星ヶ丘ターミナル店舗	浄心営業所店舗
所在地	昭和区隼人町2番1	千種区井上町80番地他	西区浄心一丁目1番6号
敷地面積	1,535㎡	134㎡	8,344㎡
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上9階建	鉄骨造 地上1階建	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上13階建
賃貸延床面積	329㎡	134㎡	84㎡
建物概要	 貸店舗	 貸店舗(コンビニエンスストア)	 貸店舗(接骨院)
駐車場	屋外9台	—	—
開業	平14.12	平15.4	平15.11

名称	DO！平針	黒川ターミナルビル	上飯田ターミナルビル
所在地	天白区平針二丁目1301番地	北区城見通三丁目11,12,13番地	北区上飯田通一丁目15番地
敷地面積	70㎡	4,646㎡	4,268㎡
構造規模	軽量鉄骨プレハブ造 1階建	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上11階建	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上10階一部9階建
賃貸延床面積	70㎡	526㎡	323㎡
建物概要	 貸店舗(保険代理店)	 貸店舗	 貸店舗
駐車場	—	屋外12台	屋外1台
開業	平22.2	昭46.12	昭48.10



## 6. 地下街管理事業

### (1) 地下街等の店舗賃貸・管理運営

平成22年4月の名古屋地下鉄振興(株)との合併により当社に引き継がれた事業です。当社所有となった地下街等の店舗賃貸・管理運営を行っています。

地下鉄名駅地下街(メイチカ)、地下鉄栄 森の地下街、地下鉄金山地下街の3つの地下街があり、名駅と栄には防災センターを併設しています。また、覚王山駅に貸店舗があります。

#### 【事業のあゆみ】

地下街管理事業は、昭和32年11月15日、地下鉄「名古屋-栄町」間の開通にともなって、名古屋地下鉄振興(株)の「地下鉄名駅地下街(メイチカ)」と「地下鉄栄町地下街(現在の「地下鉄栄 森の地下街」)」が誕生したことに始まり、半世紀以上の歴史があります。

開業後は、名駅と栄の地下街の増設や新たな地下街の開業(今池・千種(昭和35年6月)、金山(昭和42年3月)など)、大規模な改修・リニューアルなどを通じて地下街の拡大と維持を図ってまいりました。また、リニューアルに併せて防災設備の充実も図り、地下街のクオリティも高めてまいりました。

半世紀以上の歴史を持つ地下街ですが、平成22年4月に名古屋地下鉄振興(株)から当社に事業が引き継がれ、その後、一部の地下街が整理されましたが、平成29年には地下街開業60周年を迎えました。



昭和44年当時の栄東地下街(現:森の地下街南二番街)



昭和52年メイチカのリニューアル時に造られた  
ステンドグラス



## ①地下鉄名駅地下街(メイチカ)

- 【開業】 昭和32年11月15日  
 【テナント数】 24店舗(直営店2店を含む)  
 防災センター(名駅管理センター)併設

(経過)

- 昭和32年11月 開業 「地下鉄名駅地下街(メイチカ)」  
 昭和39年 5月 名駅東地下街を増設  
 昭和52年 3月 リニューアルオープン(1回目)  
 平成19年 6月 リニューアルオープン(2回目)



平成19年リニューアル当時のメイチカ (※2)



2つのエリアがあります。

- : 名駅地下街
- : 名駅東地下街



名駅地下街



名駅東地下街



## ②地下鉄栄 森の地下街

- 【開業】 昭和32年11月15日  
 【テナント数】 92店舗(直営店2店を含む)  
 防災センター(栄管理センター)併設

(経過)

- 昭和32年11月 開業  
 地下鉄栄町地下街(現 中央一番街)  
 昭和40年 9月 栄中地下街(現 南一番街)開業  
 栄南地下街(現 南四番街)開業  
 昭和44年 9月 栄東地下街(現 南二・三番街)開業  
 昭和53年11月 栄北地下街(現 北一・二番街)開業  
 (セントラルパークと同時開業)  
 昭和54年 4月 栄防災センター 開設  
 昭和57年 4月 ギャラリーチカシン営業開始  
 平成14年10月 リニューアルオープン  
 (愛称:「地下鉄栄 森の地下街」)  
 防災改善工事完成  
 平成30年10月 栄北地下街リニューアル改修



栄南三番街



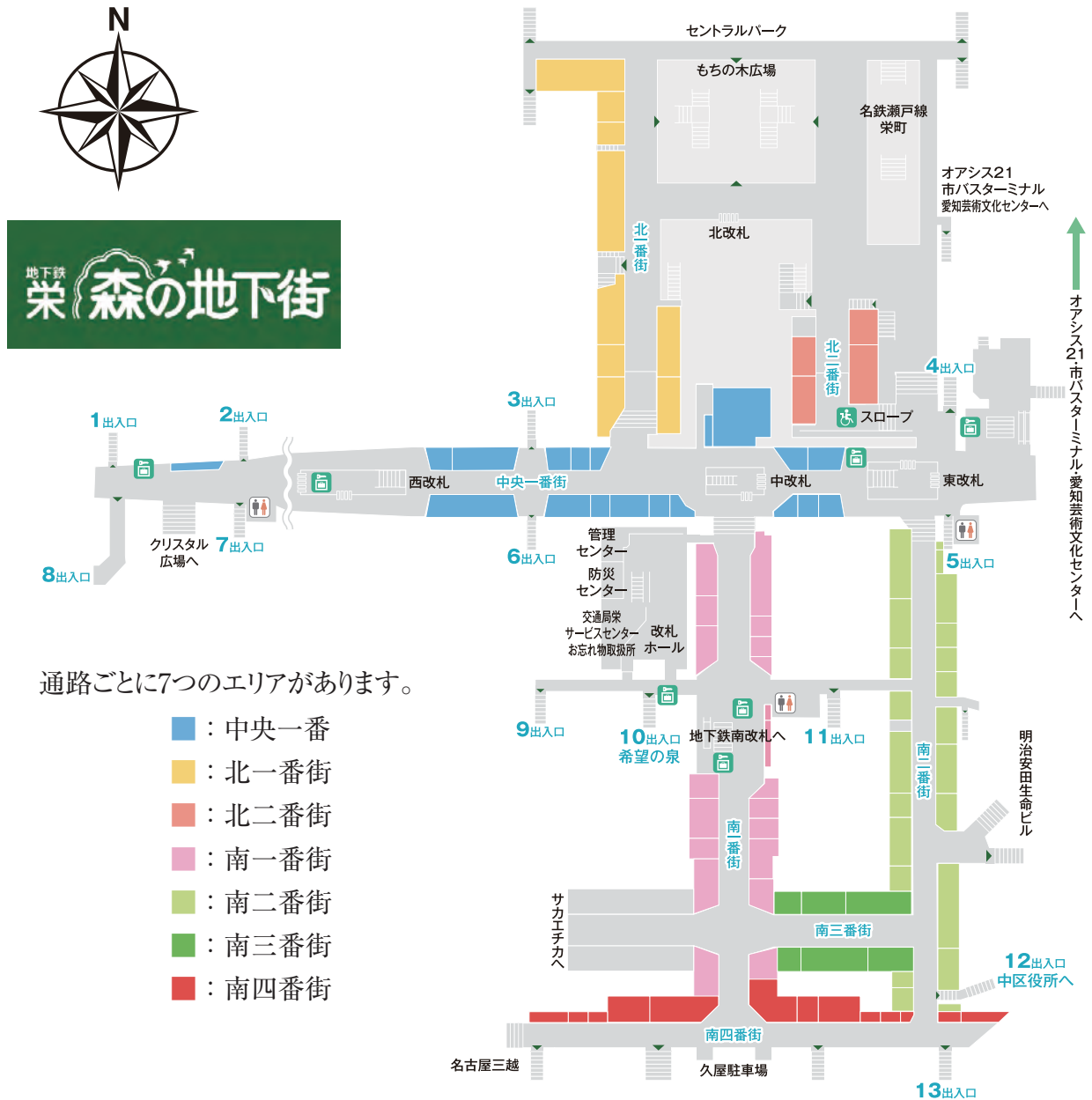
栄北一番街



防災センター(栄管理センター)



栄北一番街



### ◇ギャラリーチカシン

昭和57年4月、栄北二番街に貸画廊として開業。交通の便もよく、地下鉄栄駅・名鉄瀬戸線栄町駅に接続する位置にあり、グループ展・個展などの作品発表の場として、ご利用いただいています。



ギャラリーチカシン

所在地：栄森の地下街 北二番街  
 (地下鉄栄駅 東改札口北)  
 展示室：2室(A室・B室)  
 面積：A室：57.0㎡ / B室：38.0㎡  
 A室+B室：95.0㎡  
 会期：一会期7日間(木曜日から翌週の水曜日)  
 使用時間：10時から19時まで(最終日は16時30分まで)



### ③地下鉄金山地下街

【開業】 昭和42年3月30日(地下鉄名城線「栄-金山」間開業とともにオープン)

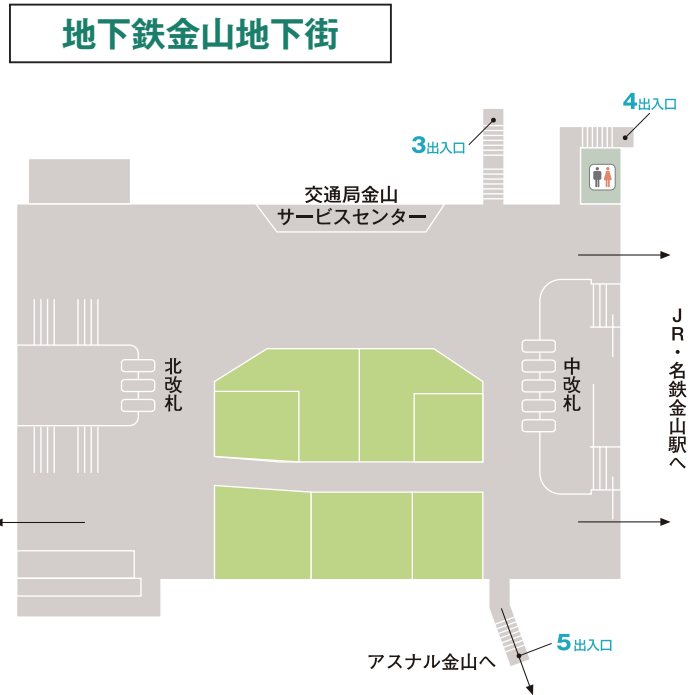
【テナント数】 7店舗

(経過)

昭和42年3月30日 開業  
 昭和63年6月 改修・改装  
 平成17年2月 リニューアルオープン



金山地下街



### ◇施設管理センター

地下鉄地下街を安心かつ快適にご利用いただく為に、空調・電気設備の保守管理に加え、建築基準法や消防法などの厳密な基準に従い、数々の防災設備等の安全管理に努めています。また、地下鉄名古屋駅、栄駅、池下駅の空調・電気設備等の保守管理も行っており、障害発生時に迅速な対応が取れるよう24時間体制で管理しています。



施設管理センター



保守管理作業



## 7. 施設保守事業

施設保守事業は、(1)地下鉄駅務機器の点検・整備業務、(2)地下鉄変電所設備の保守・点検業務等、(3)バス車両清掃業務等の3事業を行っています。

### (1)地下鉄駅務機器の点検・整備業務

地下鉄全駅の自動改札機、券売機、チャージ機、精算機、定期券発行機等の駅務機器約2,000台を点検・整備する業務を行っています。昭和52年10月に(株)交通エンジニアリングが受託を開始し、平成22年4月の合併により当社に引き継がれました。

業務範囲は幅広く、改札機やチャージ機といったおなじみの機器の点検整備に限らず、普段では見ることのない機器や設備(データ集計サーバー、駅務機器監視装置、改札周辺の放送設備など)、また各駅務機器に接続されるネットワーク機器や光ケーブルなどの点検・整備も行っています。

多数のメーカーの機種を扱い、これら駅務機器を100%直営でメンテナンスしているため、幅広い技術が求められるとともに、障害発生時には即時の対応が求められます。

このような状況の下、駅務機器が絶えず正常動作するよう日々点検・保守整備を行い、地下鉄の安全運行に貢献しています。



自動改札機の点検



券売機の点検



定期券発行機の点検

### ◇敬老パス・福祉特別乗車券「期限更新機」

平成29年度から敬老パス・福祉特別乗車券の期限更新を行なう機器（「期限更新機」という）の点検・整備業務を開始しました。

「期限更新機」は名古屋市の16区役所と6支所に設置されているもので、敬老パス等の発行・更新をする機器の全てを当社が点検・整備している事になります。



敬老パス

## (2) 地下鉄変電所設備の保守・点検業務等

地下鉄28変電所の受変電機器等を保守・点検する業務で、昭和58年4月に(株)交通エンジニアリングが受託を開始し、平成22年4月の合併により当社に引き継がれました。

変電機器保守は昭和58年に地下鉄変電所10箇所の保守業務の受注を開始したことが始まりで、現在は28箇所の変電所の保守業務を行っています。

また、平成29年8月から変電所設備等更新工事の施工管理業務の受託も開始しました。



変電設備(気中30kvキュービクル)

変電所設備の更新に伴い、受変電設備もコンパクト化が進み、現在では故障対応時にパソコンによる故障診断も増えてきました。設備更新と同時に、危険箇所も少なくなりましたが、従来の設備も多く残っており、感電等危険箇所も多くあります。そのため保守員の技術レベル向上と共に、二人以上での作業範囲、停電範囲、危険箇所確認など保守員同士の意思疎通、安全確認を最優先しています。



C-GIS(ガス絶縁)断路器操作



気中断路器操作

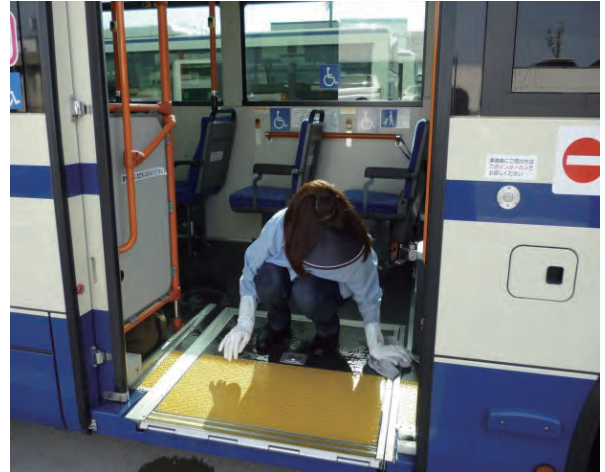


### (3) バス車両清掃業務等

昭和42年2月より協力会が交通局から受託を開始し、平成19年4月の事業継承に伴い、協力会から業務を引き継ぎました。

委託営業所を除く7営業所の清掃、約3,600箇所 of バス停留所施設の清掃点検、バス転回場・基幹バスシエルターの清掃業務を受託しています。

業務にあたっては、パートタイム社員や嘱託社員を配置するなど、効率的な運営に努めています。



受託営業所と車両台数

営業所	車両数
如意営業所	82両
中川営業所	117両
稲西営業所	104両
鳴尾営業所	124両
緑営業所	95両
猪高営業所	105両
御器所営業所	46両
計	673両

※バス清掃は9日間隔で清掃を実施。平成30年度はのべ27,612両を清掃。



バス車内の清掃の様子



バス停清掃の様子



**【参考文献】**

- ・(株)名古屋交通開発機構10周年記念誌 軌跡～交通開発機構の10年～(平成11年7月発行)
- ・(株)名古屋交通開発機構20周年記念誌 おかげさまで20年(平成21年7月発行)
- ・(株)交通エンジニアリング30周年記念誌 おかげさまで30年(平成19年10月発行)
- ・名古屋地下鉄振興(株)50周年誌 (平成19年11月発行)
- ・(社)名古屋市交通局協力会50年史 (平成11年11月発行)
- ・市バス地下鉄 平成30年度 (名古屋市交通局 平成30年7月発行)

**【引用】**

- ・P 4 (※1)(株)名古屋交通開発機構20周年記念誌
- ・P31 (※2)名古屋地下鉄振興(株)50周年誌

DO!

資料

Data

## 株式会社名古屋交通開発機構 定款

### 第1章 総則

(商号)

第1条 当社は、株式会社名古屋交通開発機構と称する。

(目的)

第2条 当社は、次の事業を営むことができる。

- (1) 名古屋市交通局所有の賃貸不動産の賃貸及び管理運営に関する事業
- (2) 名古屋市高速度鉄道に附設又はこれに関連する地下商店街及びその附属設備の建設、取得、賃貸及び管理運営に関する事業
- (3) 自動車駐車場及びこれに附設する施設の建設、取得及び管理運営に関する事業
- (4) 前3号以外の不動産の取得、建設、処分、賃貸及び管理運営に関する事業
- (5) 宅地建物取引業
- (6) 乗車券の販売に関する事業
- (7) 電車及び自動車の整備又は改造に関する事業
- (8) 名古屋市交通局からの受託事業及び名古屋市交通事業の経営改善に資する事業
- (9) ICカード乗車券の作成、発行、料金の出納及び精算等の事業
- (10) 自動乗車券発売機、自動集改札装置、乗車券発行機その他の駅務機器及び受変電機器の保守管理に関する事業
- (11) 広告代理業及び広告管理に関する事業
- (12) 当せん金付証票の売捌きその他の物品等の販売に関する事業
- (13) 名古屋市交通事業にかかる乗客の利便・サービス施設の経営管理に関する事業
- (14) 損害保険代理業
- (15) 労働者派遣事業
- (16) 警備業
- (17) その他前各号に関連する業務及び前各号の目的を達成するために必要な事業

(本店の所在地)

第3条 当社は、本店を名古屋市に置く。

(公告の方法)

第4条 当社の公告は、官報に掲載する。



## 第2章 株式

(発行可能株式総数)

第5条 当社の発行可能株式総数は、8,000株とする。

第6条 削除

(株券の不発行)

第7条 当社の株式については、株券を発行しない。

(株式の取扱い)

第8条 当社の株式の名義書換その他株式に関する取扱いは、取締役会の定めるところによる。

(株式の譲渡制限)

第9条 当社の株式を譲渡するには、取締役会の承認を受けなければならない。

第10条 削除

## 第3章 株主総会

(招集)

第11条 定時株主総会は決算日の翌日から3箇月以内に、臨時株主総会は必要のある場合に随時招集する。

(基準日)

第11条の2 当社の定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日とする。

(議長)

第12条 株主総会の議長は、取締役社長がこれに当たる。社長に事故のあるときは取締役会で予め定めた順序に従い、他の取締役がこれに代る。

(決議)

第13条 株主総会の決議は法令に別段の定めがある場合のほか、出席した株主の議決権の過半数をもってする。

(議決権の代理行使)

第14条 株主総会において株主の議決権を行使する代理人は当社の株主に限る。ただし、法定代理人は差し支えない。

## 第4章 取締役、監査役及び取締役会

(定員)

第15条 当会社に取り締役15名以内、監査役2名以内を置く。

(選任)

第16条 取締役及び監査役は株主総会において選任する。但し、取締役の選任決議は累積投票によらないものとする。

(任期)

第17条 取締役及び監査役の任期は取締役にあっては選任後2年内、監査役にあっては選任後4年内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結のときまでとする。

2 補欠又は増員のため選任された取締役の任期は、他の現任取締役の残任期間と同一とし、補欠のため選任された監査役の任期は、退任した監査役の残任期間と同一とする。

(代表取締役、役付取締役、顧問及び相談役)

第18条 会社を代表する取締役は取締役会の決議により選任し、各自会社を代表する。ただし、代表取締役のうち1名は社長とする。

2 取締役会の決議により、取締役のうちから副社長、専務取締役及び常務取締役各若干名を置くことができる。

3 取締役会の決議により、顧問及び相談役若干名を置くことができる。

(取締役会)

第19条 取締役会は、特に法令又は定款に定める事項のほか業務執行に関する重要な事項を決定する。

(招集)

第20条 取締役会招集の通知は、定例取締役会の場合を除き、各取締役及び各監査役に対して会日の3日前までに発する。但し、緊急の必要ある場合はこれを短縮することができる。

(議長)

第21条 取締役会の議長は取締役社長がこれに当たる。社長に事故のあるときは、取締役会で予め定めた順序により、他の取締役がこれに代る。

(決議)

第22条 取締役会の決議は、取締役の過半数が出席し、出席取締役の過半数をもってする。

2 取締役が提案した決議事項について、取締役全員が書面又は電磁的記録により同意したときは、当該事項を可決する旨の取締役会の決議があったものとみなす。ただし、監査役が異議を述べたときは除くものとする。

(取締役会規則)

第23条 取締役会に関するその他の事項については、取締役会で定める取締役会規則による。

(取締役の責任免除)

第23条の2 当社は、会社法第426条第1項の規定により、取締役(取締役であった者を含む。本条において同じ。)が職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がない場合において、責任の原因となった事実の内容、当該取締役の職務の執行の状況その他の事情を勘案して特に必要と認めるときは、取締役会の決議によって取締役の損害賠償責任を、法令の限度において免除することができる。

2 当社は、会社法第427条の規定により、取締役(業務執行取締役等である者を除く。以下この項において同じ。)との間で、同法第423条第1項の取締役の責任を限定する契約を締結することができる。ただし、当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、同法第425条第1項に規定する最低責任限度額とする。

(監査役の責任免除)

第23条の3 当社は、会社法第426条第1項の規定により、監査役(監査役であった者を含む。本条において同じ。)が職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がない場合において、責任の原因となった事実の内容、当該監査役の職務の執行の状況その他の事情を勘案して特に必要と認めるときは、取締役会の決議によって監査役の損害賠償責任を、法令の限度において免除することができる。

2 当社は、会社法第427条の規定により、監査役との間で、同法第423条第1項の監査役の責任を限定する契約を締結することができる。ただし、当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、同法第425条第1項に規定する最低責任限度額とする。

## 第5章 計算

(事業年度)

第24条 当社の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までの1年とする。

(剰余金の配当)

第25条 剰余金の配当は、株式の数に応じ決算日現在の株主にこれを支払う。

2 未払配当金については利息をつけない。

## 第6章 附則(抄)

(設立の際に発行する株式の総数及び発行価額)

第26条 当社は、設立の際に額面株式2,000株を発行し、その発行価額を1株につき50,000円とする。

(最初の営業年度)

第27条 当社の最初の営業年度は、当社設立の日から平成2年3月31日までとする。

(最初の取締役及び監査役の任期)

第28条 当社の最初の取締役及び監査役の任期は、就任後1年内の最終の決算期に関する定時株主総会終結のときまでとする。



歴代の役員

歴代の役員① (平成元年度 ~ 平成21年度)

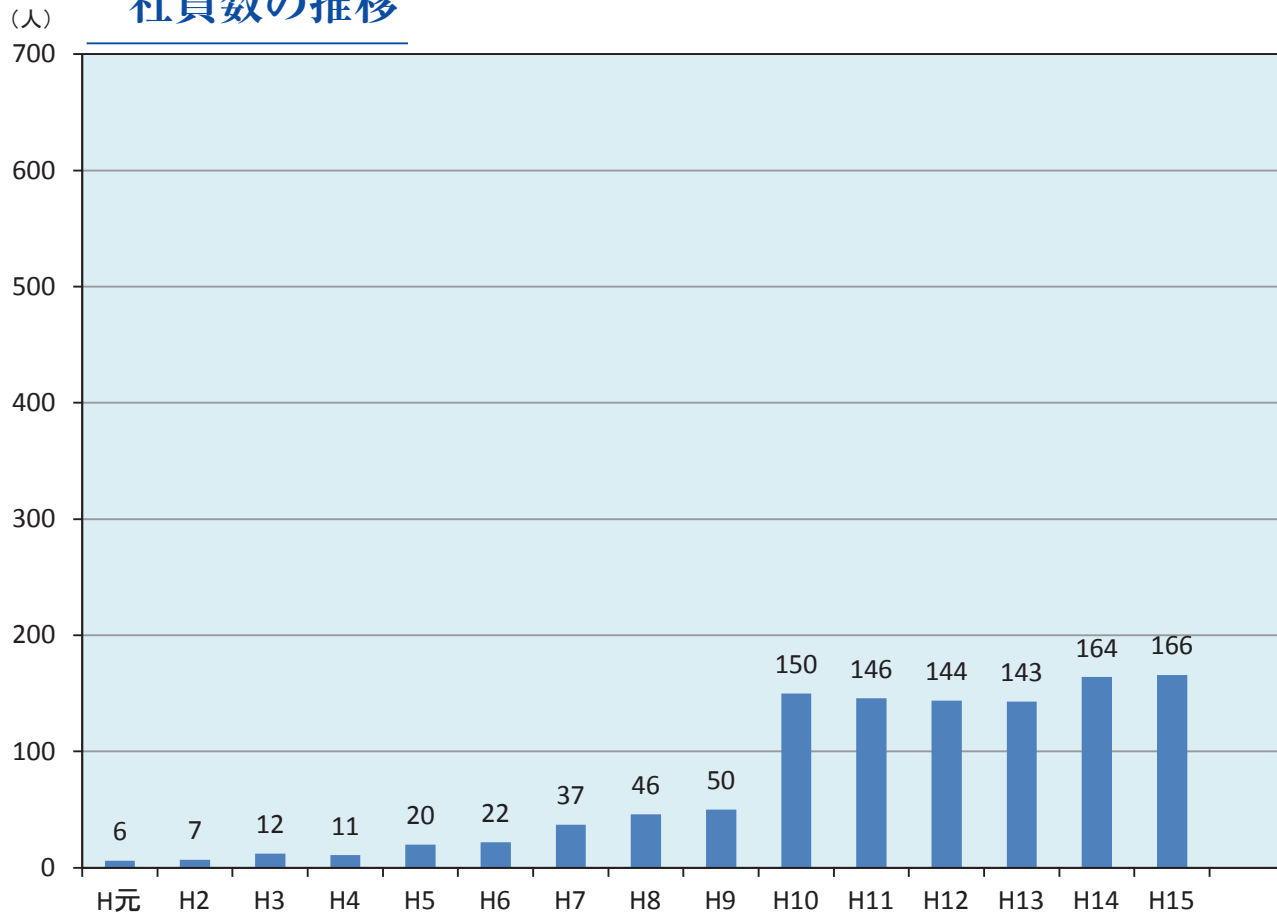
		元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
代表取締役社長	常勤										
	非常勤	7.1 西尾武喜								6.19 松原武久	6.23 竹内正
代表取締役副社長	常勤			6.6 長阪真也							6.23 江崎敏
	非常勤	7.1 東松卓介		6.6							
専務取締役	常勤										
常務取締役	常勤	7.1 奥村晃 千村益生	5.29	6.6							
	非常勤										
取締役	常勤						6.24 皆川司				6.23 梶田富士夫
	非常勤	7.1 中川建	5.29 藤原脩二			6.21 兼松公平			6.11 三木常義		
		7.1 横山需		6.6 加藤真昭		6.21 竹川日出男			6.19 服部一良		
		7.1 平野幸雄							6.11 高木勝義		
監査役	非常勤	7.1 竹内正				6.21 井手一重	6.24 塚本孝保				6.23 吉村定俊
		7.1 花村憲司	5.29 中島高士	6.6 江崎敏					6.11 白橋俊男	6.19 小島美喜男	6.23 近藤勝武

歴代の役員② (平成22年度 ~ 平成31年度)

		22	23	24	25	26	27	28	29	30	31(令和元)
代表取締役社長	常勤	4.1 森孝司				6.13 原口辰郎				6.14 前田務	
	非常勤	4.1 塚本晃		6.13							
取締役副社長	常勤							6.10 前田務		6.14	
	非常勤	4.1 大西聰	2.7 入倉憲二	6.10		6.13 田宮正道		6.10 新開輝夫		6.14	
専務取締役	常勤	4.1 森川毅	4.1 武石裕		6.12 原口辰郎	6.13 片山健一	6.10 今枝茂				
常務取締役	常勤					6.13 岩田幸		6.10		6.14 伊藤睦	6.13 三浦順司
	非常勤	4.1 糟谷良一	11.7		6.13 片山健一	6.13 夏目和幸		6.10 鳥居智		6.14	6.13 今井忍
取締役	常勤	4.1 前田務	4.1 林光紀	3.31 伊藤睦	6.13	3.31 伊藤睦				6.14	6.13 三浦順司
		4.1 加藤芳彦		6.13							
	非常勤	4.1 山本哲司	4.1 住田博	6.13 安藤隆光		6.13 服部明彦		6.10 菊池文泰			6.13 高木宏明
		4.1 村上芳樹		6.13 山本秀隆		6.13 黒川和博		6.10 三輪友夫	6.13 山田淳		6.13 河野和彦
常勤	4.1 長谷川康夫		4.1 三芳研二	6.13	4.1 二神望	6.13		6.13 光田清美			
監査役	常勤	4.1 井上庸吉		6.13 久野雅典					6.13		
	非常勤							6.13 神谷紀子			

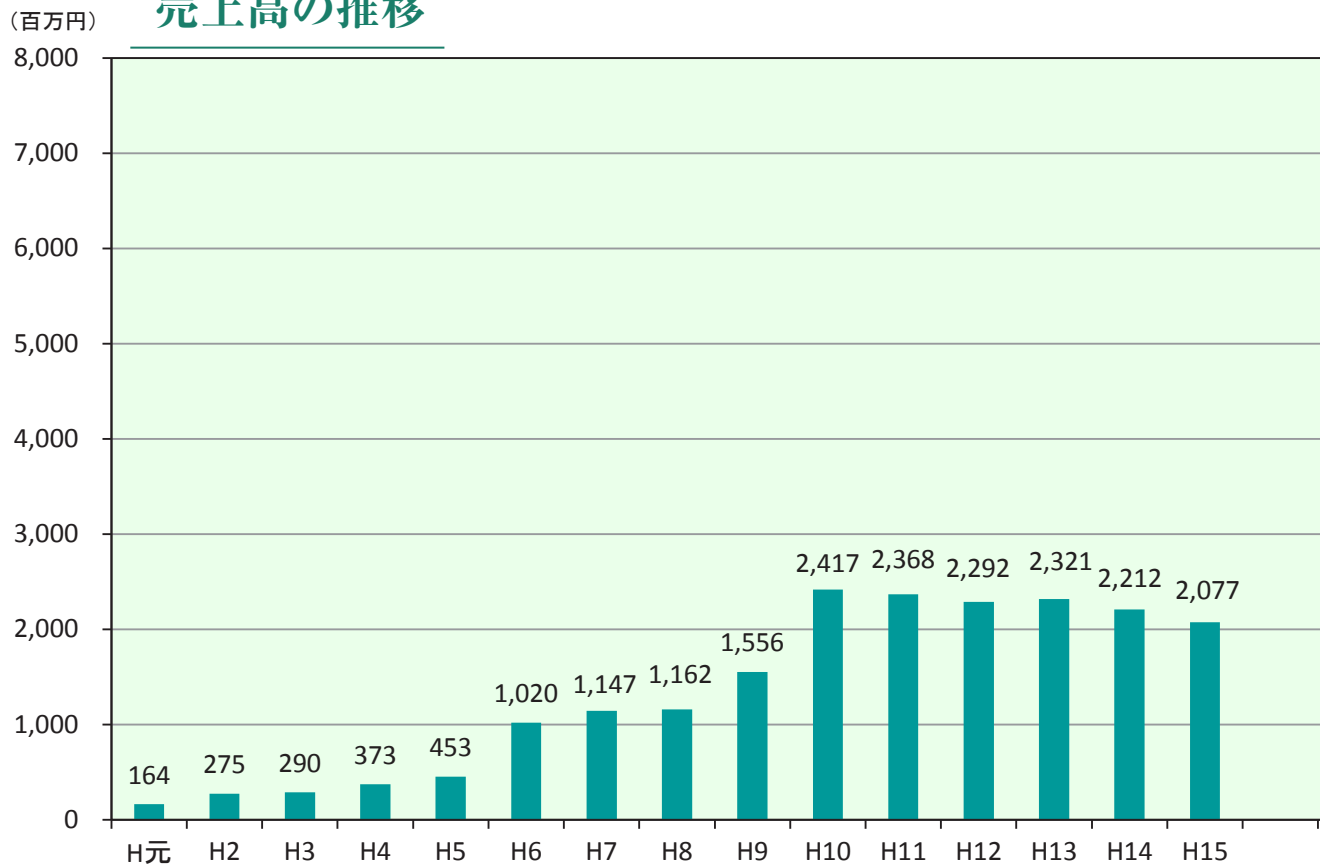
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
				6.17 大野悦且			6.21 森本保彦		6.18 加藤雄也	3.31
	6.27 鈴木勝久			6.17						
				6.17 鈴木勝久	6.16 塚本孝保			6.18 山田雅雄		9.9 4.1 大西 聰
								6.18 豊田道夫		4.8 4.1 塚本 晃
				6.17 藤岡俊樹			6.21 豊田道夫	6.18 糟谷良一		4.8 那須敏夫
		6.28 藤岡俊樹		6.17				6.18 島田善規	6.18 藤田正志	3.30
								6.18 夏目和幸		4.8 3.30 岩田 幸
6.22 岡田年弘		6.28 磯部雅好	6.27 大井治夫		6.16 水谷 宏		6.21 入倉憲二		6.18 長谷川和司	3.31
	6.20 前橋隆介	6.28 安東晨光	6.27 村瀬勝美	6.17 渡辺恭久			6.21		6.18 村上芳樹	
			6.27 塚本孝保		6.16 吉井信雄				6.6 長谷川康夫	
				6.17 山田豊男	6.16 山内善一朗	6.22 竹内和芳	6.21 山内善一朗			4.8 3.31 中根卓郎
		6.28 前橋隆介	6.27 11.30 前橋隆介							

## 社員数の推移

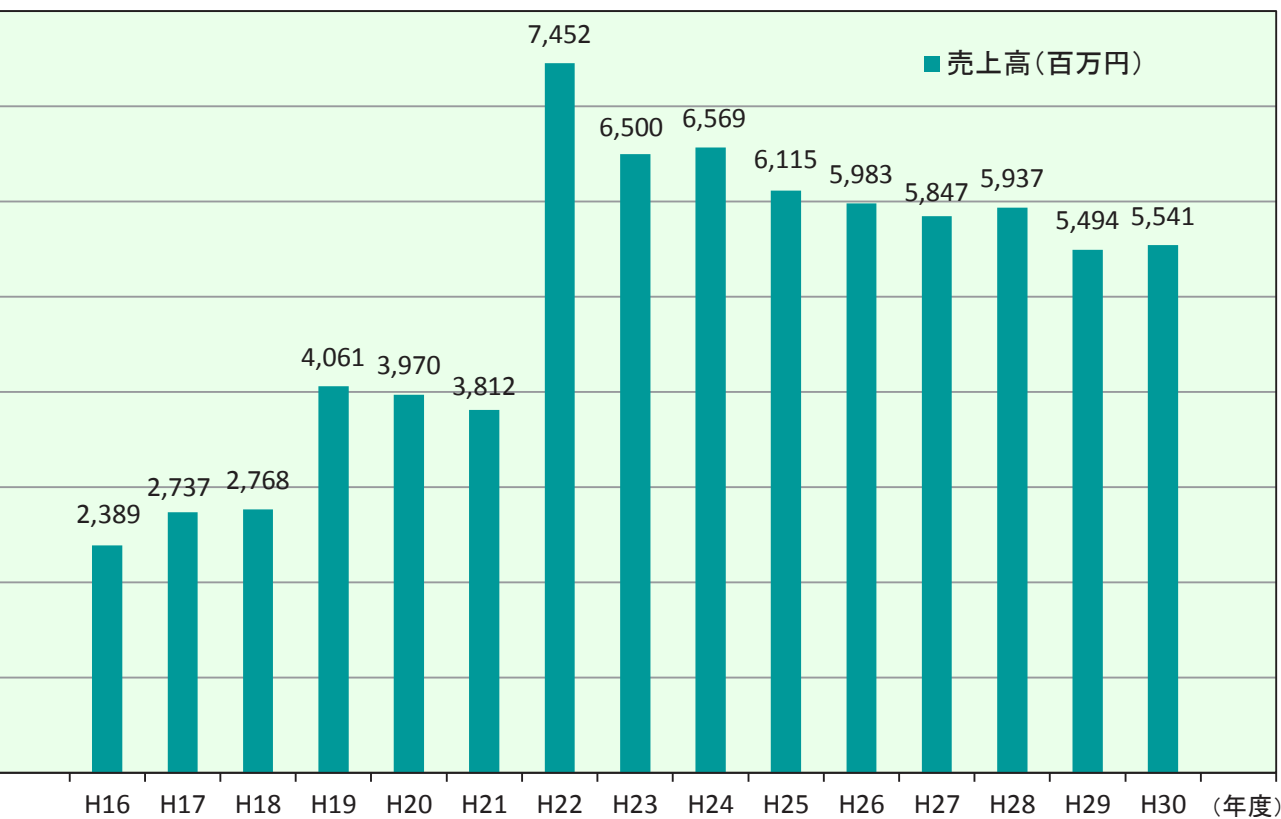
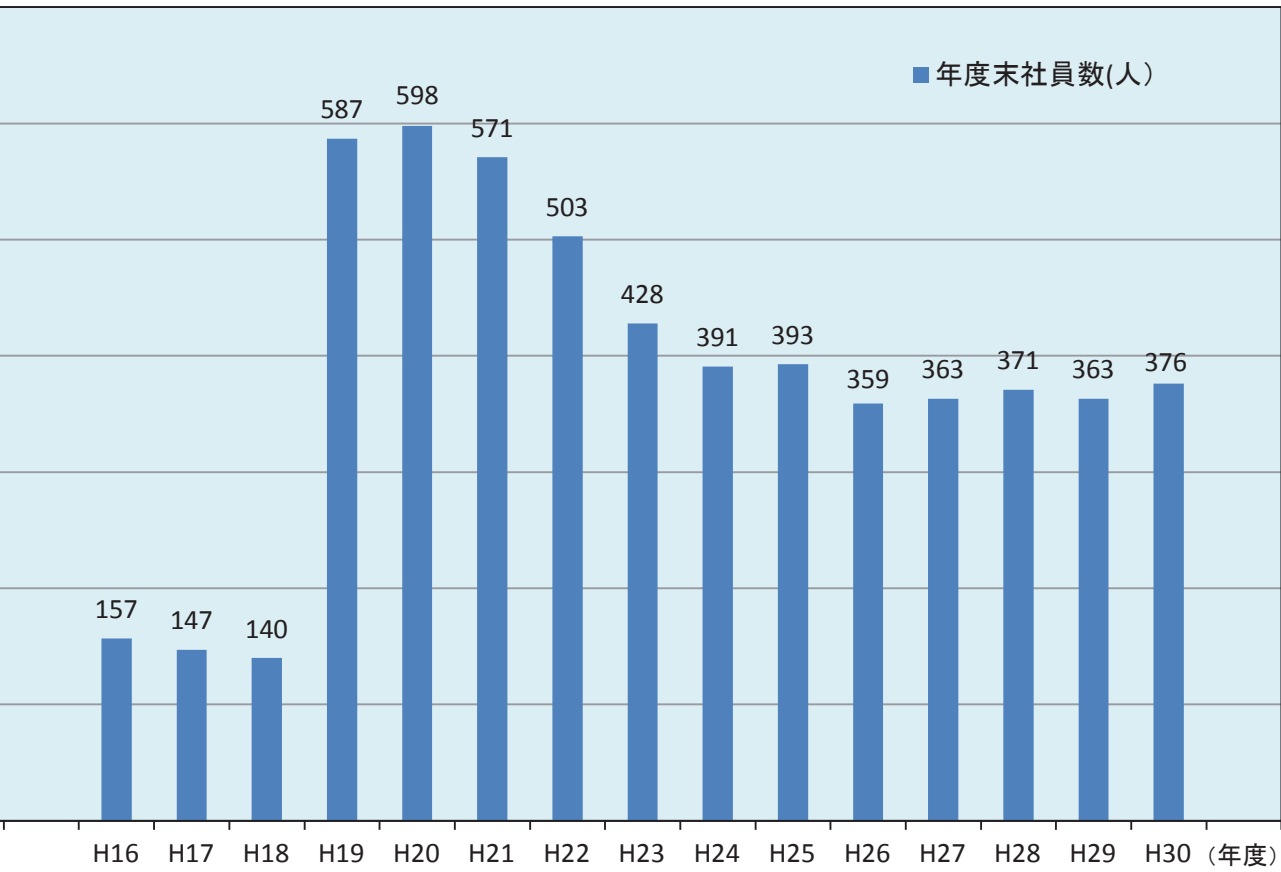


※パート社員等を含む

## 売上高の推移







年次	株式会社名古屋交通開発機構のあゆみ
平成元年 (1989)	07.01 株式会社名古屋交通開発機構 創立 本社 名古屋市中区金山一丁目17番18号(金山総合駅内) 07.09 事業開始 広告販売、乗車券販売、書籍販売、物品販売・コインロッカー・飲料水自動販売機・自動写真機の管理運営 07.25 名古屋市100%出資会社となる 09.10 交通局指定広告代理店に指定
平成3年 (1991)	11.01 交通局賃貸施設赤池駅構内店舗の管理運営を受託(金融機関店舗)
平成4年 (1992)	04.01 案内所の案内業務受託(H18.3 廃止) H4.4.1 市バス・地下鉄名古屋駅南案内所(H16.3.29廃止) H6.4.1 市バス・地下鉄金山案内所(H12.4.1協定会へ移管) H7.6.1 名古屋バスターミナル案内所(H16.4.1協定会へ移管) 栄バスターミナル案内所(H14.10.1廃止) 07.18 当社広告枠「街角かわら版」設置(地下鉄主要駅) 「からくり人形時計広告」設置(金山総合駅)
平成5年 (1993)	05.12 東山線一社駅構内に直営コンビニエンスストア「DO! 一社」開業(H10.3 売上低迷のため閉店、交通局へ移管) 11.01 直営賃貸ビル「DO! 日進」開設
平成6年 (1994)	03.30 交通局賃貸ビル「DO! 野並」開設、管理運営を受託(第1号) 04.01 交通局広告管理業務の全てを受託
平成7年 (1995)	04.22 旅行代理業開始(H22.1.30廃止) H7.4.22 近畿日本ツーリスト旅行代理店「DO! 平針」開店(H22.1.30閉店) H8.9.7 「DO! 金山」開店(H17.3.31閉店) H12.4.8 「DO! 藤ヶ丘ツアーズ」開店(H16.5.31閉店)
平成8年 (1996)	10.01 本社移転(昭和区紅梅町3丁目10番地) 11.12 直営喫茶飲食店「カフェ・ド・メトロ」を金山総合駅に開設(H15.9.1廃止) 11.21 交通局賃貸施設「上前津地下街」の管理を受託
平成9年 (1997)	04.01 交通局賃貸ビル「御器所ステーションビル」及び「原ターミナルビル」開設、管理運営を受託 04.30 交通局賃貸ビル「八事ビル」開設、管理運営を受託
平成10年 (1998)	04.01 市バス・地下鉄車両の整備業務を受託 H22.3.31 市バス車両整備業務終了 H23.3.31 地下鉄車両整備業務終了 「上社ターミナルビル」・「アイレックス桜山」開設、管理運営を受託
平成11年 (1999)	04.01 損害保険代理業開始 「DO! 平針」・「DO! 金山」での旅行保険が中心
平成12年 (2000)	10.28 地下鉄トンネル内への光ファイバーケーブル敷設事業に着手 H14.03.31 敷設完了 H14.04.01 保守管理業務開始(H22.3.31終了)
平成13年 (2001)	03.23 ゆとりーとライン(名古屋ガイドウェイバス(株))の広告管理業務を受託 07.02 製作販売したラッピング市バス運行開始 08.01 インターネットホームページ開設 12.22 製作販売したラッピング地下鉄運行開始
平成14年 (2002)	07.01 交通局賃貸ビル「平針駅南ビル」開設、管理運営を受託 12.01 交通局賃貸ビル「いりなか駅ビル」開設、管理運営を受託

年次	愛知県・名古屋市(交通局)のできごと	世界・全国のできごと
平成元年 (1989)	07.09 金山総合駅開設 07.15 世界デザイン博覧会開催(～11.26) 09.10 桜通線中村区役所・今池間開業 地下鉄回数券カード発売開始	01.08 元号「平成」となる 04.01 消費税3%導入 11.09 ベルリンの壁崩壊 12.02 マルタ会談(→東西冷戦終結)  (1990) 10.03 東西ドイツ統一
平成3年 (1991)	10.01 乗車券カードシステム本格実施	01.17 湾岸戦争勃発 06.20 東北新幹線上野・東京間開業 12.25 ソ連崩壊
平成4年 (1992)	12.01 交通局直営店舗「DO! 池下」を池下駅構内に設置 (1号店)	02.08 アルベールビルオリンピック開催 07.25 バルセロナオリンピック開催
平成5年 (1993)	08.12 鶴舞線上小田井・庄内緑地公園間延長開業 名鉄犬山線と相互直通運転開始	05.15 Jリーグ開幕
平成6年 (1994)	02.16 桜通線ワンマン運転開始 03.30 桜通線今池・野並間延長開業 04.01 名古屋ガイドウェイバス(株)創立	02.12 リレハンメルオリンピック開催
平成7年 (1995)		01.17 阪神淡路大震災発生 03.20 地下鉄サリン事件
平成8年 (1996)	03.27 「市営交通資料センター」開設(交通局直営) 04.01 名古屋環境きっぷの発売開始	07.19 アトランタオリンピック開催
平成9年 (1997)	03.12 「ナゴヤドーム」開場 12.02 名古屋臨海高速鉄道(株)創立	04.01 消費税5%に増税 (地方消費税創設・5%のうち1%) 10.01 長野新幹線高崎・長野間開業 11.24 山一証券 自主廃業
平成10年 (1998)	05.06 ストアードフェアカード「ユリカ」を発売・使用開始 10.01 定期券乗降確認システム導入	02.07 長野オリンピック開催
平成11年 (1999)	12.20 JRセントラルタワーズ竣工	
平成12年 (2000)	01.19 名城線大曽根・砂田橋間延長開業 ユリカ積み増し機能を付加 06.02 市電・地下鉄保存館(レトロでんしゃ館) 開設 (交通局直営)	07.21-23 沖縄サミット 09.02 三宅島噴火(全島避難) 09.11-12 東海豪雨発生 09.15 シドニーオリンピック開催
平成13年 (2001)	03.23 「ゆとりーとライン」開業 (名古屋ガイドウェイバス(株))	03.31 ユニバーサルスタジオジャパン開園 09.04 東京ディズニーシー開園 09.11 アメリカにて同時多発テロ発生
平成14年 (2002)	03.15 インターネットによる定期券予約購入申込の受付開始	02.08 ソルトレイクシティオリンピック開催 05.31-06.30 サッカーW杯 日韓大会開催

年次	株式会社名古屋交通開発機構のあゆみ
平成15年 (2003)	04.01 交通局賃貸店舗「星ヶ丘ターミナル店舗」開設、管理運営を受託 11.01 交通局賃貸施設「浄心営業所店舗」開設、管理運営を受託 12.13 市バス那古野営業所廃所に伴い、バス清掃・雑役業務・燃料業務終了
平成16年 (2004)	04.01 本山駅店舗を協力会より有償で譲り受け 交通局不動産の管理運営を当社に一元化(黒川ターミナルビル・上飯田ターミナルビル) 06.01 「電光表示付時計広告」を設置(金山駅1階部分) 交通局賃貸ビル「ループ金山」開設、管理運営を受託(「DO!金山」を改築) 10.06 あおなみ線(名古屋臨海高速鉄道(株))の広告管理業務を受託 市バス港営業所廃所に伴い、バス清掃・雑役業務・燃料業務終了
平成17年 (2005)	08.01 東山線一社高架下駐車場(37台)の管理運営を受託
平成18年 (2006)	
平成19年 (2007)	02.26 東山線名古屋駅ホームへ大型広告ボード「ビッグウォール」設置 03.01 「電子認証式ロッカー」の管理運営事業を開始(H20.8 利用率低迷により事業廃止) 04.01 協力会解散時における事業及び職員を全て引き継ぎ (事業) 広告物の受付・着脱、コインロッカーの管理運営、ティッシュ販売、公衆電話の管理、 交通局サービスセンターの運営、スピードユリカの製作、乗車券委託販売店との取次ぎ、 市営交通資料センターおよび市電・地下鉄保存館の運営、市営交通機関施設の清掃等 (職員) 460名(固有137名、市退職者100名、嘱託102名、パート121名) 06.05 交通局からICカード乗車券の運営会社の指定を受ける 10.01 本社移転(昭和区御器所通三丁目12番地)
平成20年 (2008)	04.18 名古屋都心部のホテルでの一日乗車券等の委託販売取次ぎ業務受託 10.27 金融機関現金自動預払機(ATM)の設置・管理運営業務を開始(金山駅及び大曽根駅)
平成21年 (2009)	04.01 市バス浄心営業所の車両清掃等の受託業務終了
平成22年 (2010)	03.31 地下鉄駅清掃業務終了・バス車両整備後の清掃及び雑役業務終了 04.01 名古屋地下鉄振興(株)・(株)交通エンジニアリングと合併 ・財産及び権利義務一切を継承 ・地下街の店舗管理・直営店「チカシン」の営業、各地下街の施設・防災管理、駅務機器等の保守、地下鉄変電所の保守業務 大久手事務所・工事事務所・施設事務所(名城)・バス営業所の雑役業務受託(7営業所・1分所) バス停留所施設の清掃点検業務受託(4コース) 駅務機器点検整備委託の競争化 04.30 栄地下街地冷増強工事完成 06.28 栄事務所を池下事務所に統合 ・池下事務所(総務部・直営事業部・ビル管理部・地下街管理部・整備部) ・栄営業所:中目ビル7階(地下街管理部) ・御器所本社(総務部・ICシステム部・乗車券部・広告事業部・環境部) 09.30 トイレのティッシュ自販機廃止 11.01 サッカー<じ>(toto・BIG)販売開始(栄宝<じ>本店) 12.28 マナカ電子マネー端末設置作業受託(H27.3.31終了)
平成23年 (2011)	02.01 マナカ電子マネー端末保守業務受託(H27.3.31終了) 02.11 マナカサービスイン(これに伴う駅務機器の更新業務実施) IC定期券発売機導入に伴う保守業務の追加実施 03.18 名駅地下街中央監視装置更新工事完成 04.01 地下鉄徳重変電所の保守業務追加受託 桜通線野並-徳重間開業に伴う駅務機器の保守業務範囲拡大 09.30 工事事務所の雑役業務受託終了



年次	愛知県・名古屋市(交通局)のできごと	世界・全国のできごと
平成15年 (2003)	03.27 市営交通と名鉄等との共通利用乗車券カード「トランパス」導入 上飯田線上飯田・平安通間開業 名鉄小牧線と相互直通運転開始 12.13 名城線砂田橋・名古屋大学間延長開業	
平成16年 (2004)	10.06 名城線名古屋大学・新瑞橋間延長開業 (全国初の地下鉄環状運転) 「あおなみ線」開業(名古屋臨海高速鉄道(株))	08.13 アテネオリンピック開催 12.26 スマトラ島沖地震発生 10.23 新潟県中越地震(M6.8)発生
平成17年 (2005)	02.17 中部国際空港開港 03.25-09.25 2005年日本国際博覧会「愛・地球博」開催	04.25 JR福知山線脱線事故
平成18年 (2006)	03.31 名古屋遊覧バス(株)事業廃止 04.01 「ドニチエコきっぷ」発売開始	02.10 トリノオリンピック開催
平成19年 (2007)	03.06 ミッドランドスクエア全館開業	10.01 日本郵政公社 民営化 07.16 新潟県中越沖地震(M6.8)発生
平成20年 (2008)		08.08 北京オリンピック開催 09.15 リーマンショック 07.07-09 北海道洞爺湖サミット
平成21年 (2009)		
平成22年 (2010)	08.30 地下鉄駅改札外トイレハットイレットペーパー設置	02.12 バンクーバーオリンピック開催 06.13 小惑星探査機「はやぶさ」帰還 12.04 東北新幹線全線開業
平成23年 (2011)	01.22 中村区役所駅 可動式ホーム柵使用開始 02.11 ICカード「mana」導入 ユリカ、地下鉄1区特別きっぷの発売終了 03.27 桜通線野並・徳重間延長開業	03.11 東日本大震災(M9.0)発生 03.12 九州新幹線全線開業 07.24 アナログ放送完全終了

年次	株式会社名古屋交通開発機構のあゆみ
平成24年 (2012)	04.21 TOICA (東海旅客鉄道(株)) との相互利用開始 (これに伴う駅務機器の更新業務実施) 04.28 交通局サービスセンター縮小の為、随時廃止 (9箇所→3箇所) H24.04.28 今池・星ヶ丘・八事サービスセンター廃止 H24.05.31 新瑞橋サービスセンター廃止 H24.11.22 伏見サービスセンター廃止 H24.11.24 大曽根サービスセンター廃止 06.20 飲料自販機設置事業の開始 11.26 交通局サービスセンター3箇所へ縮小 (名古屋・栄・金山) 交通局お忘れ物取扱所の移転 (市役所から栄サービスセンターへ)
平成25年 (2013)	01.09 名古屋みまもりタッチサービス開始 (南山大学附属小学校) 03.15 栄北変電所特別高圧変圧器更新工事完成 03.23 交通系ICカード全国相互利用開始 (これに伴う駅務機器の更新業務実施) 03.29 名駅総合操作盤改修工事完成 03.31 今池・千種地下街廃止、直営売店「チカシン千種店」閉店 野並営業所清掃受託業務終了 (民間委託化) 04.01 バス営業所燃料給油受託業務終了 鳴尾営業所CNG充てん業務のみ受託 (H29.12.13終了) 中川営業所のバス車両車検後清掃業務受託 カード集中発行機点検整備追加受託 04.05 マナカ学生証の発行開始 (名古屋市立大学)
平成26年 (2014)	02.28 チカシン池下空調改修工事完成 03.31 市営交通資料センター、市電・地下鉄保存館の運営業務終了 04.01 如意営業所の一部民間委託化によりバス車両清掃35両減車
平成27年 (2015)	03.14 池下ビル自動火災報知設備改修工事完成 12.01 交通局サービスセンターの運営業務等受託 (5年間)
平成28年 (2016)	03.12 グランパスmanaca発売 03.31 バス営業所の雑役業務終了 06.17 栄地下街無線通信補助設備改修工事完成 09.01 敬老バス・福祉特別乗車券のICカード化 (これに伴う駅務機器の更新業務実施) 10.11 地下鉄那古野変電所の保守業務終了 地下鉄名駅変電所の保守業務追加受託 12.19 ドアラmanaca発売
平成29年 (2017)	03.31 栄地下街高圧受電盤更新工事完成 06.30 敬老バス・福祉特別乗車券の期限更新機の保守業務受託開始 (区役所・支所) 08.29 地下鉄岩塚及び藤ヶ丘変電所の設備等更新に伴う工事施工管理業務受託 10.01 本社移転:千種区覚王山通七丁目11番地 一日乗車券の紙券化に伴う駅務機器の更新業務実施 11.15 名古屋地下鉄地下街開業60周年記念式典開催
平成30年 (2018)	03.14 wellow card manaca/wellow card誕生 03.15 栄北地下街天井耐震改修及びリニューアル改修工事 (I期工事) 完成 03.19 IC対応精算機導入に伴う保守業務の追加実施 03.31 大久手事務所清掃業務の受託終了 04.01 損害保険代理業廃止 04.30 名駅地下街熱源設備改修工事完成 05.22 地下鉄大曽根変電所の設備等更新に伴う工事施工管理業務受託 06.04 栄営業所移転:中区新栄町一丁目1番地 (明治安田生命名古屋ビル6階) 10.24 地下鉄高蔵変電所の設備等更新に伴う工事施工管理業務受託
(平成31年) 令和元年 (2019)	03.25 栄北地下街天井耐震改修及びリニューアル改修工事 (II期工事) 完成 03.31 施設事務所清掃業務の受託終了 03.31 直営売店「チカシン栄南一番街店」閉店 07.01 創立30周年

年次	愛知県・名古屋市(交通局)のできごと	世界・全国のできごと
平成24年 (2012)	03.01 ユリカ、地下鉄1区特別きっぷの使用停止 04.12 定期券のクレジット決済開始(市営交通のみ) 04.21 TOICA(東海旅客鉄道(株))との相互利用開始	05.22 東京スカイツリー開業 07.27 ロンドンオリンピック開催
平成25年 (2013)	03.23 交通系ICカード全国相互利用開始 (Kitaca、PASMO、Suica、PiTaPa、ICOCA、 はやかけん、nimoca、SUGOCA) 05.13 訪日外国人向け「SHORYUDO Enjoy Ticket Set」 発売 09.26 地下鉄全線トンネル内携帯電話サービスエリア化	06.22 富士山 世界遺産に登録 09.07 2020年オリンピック開催地が 東京に決定
平成26年 (2014)	04.01 浄心営業所楠分所を開所・管理委託化 09.01 市バス・地下鉄料金改定 10.17 トリノラッピングバス運行開始	02.07 ソチオリンピック開催 04.01 消費税8%に増税 (うち地方消費税1.7%) 06.21 富岡製糸場 世界遺産に登録
平成27年 (2015)	09.07 東山線高畑駅可動式ホーム柵供用開始 10.03 「Nagoyaポップアップ・アーティスト」開始 11.21 地下鉄駅無料公衆無線LANを整備	
平成28年 (2016)	03.12 リリモIC乗車券導入・交通局連絡定期券発売開始 05.01 地下鉄名古屋駅にコンシェルジュを配置 07.04 地下鉄名城線・名港線 女性専用車両を導入 09.01 敬老バス・福祉特別乗車券ICカード化	01.01 マイナンバー制度開始 03.26 北海道新幹線開業 04.16 熊本地震(M7.3)発生 05.26-27 伊勢志摩サミット開催 08.05 リオデジャネイロオリンピック開催
平成29年 (2017)	03.31 地下鉄上前津地下街 廃止 04.01 名古屋駅 市バスターミナル開業 レゴランドジャパン開業 10.01 一日乗車券の紙券化	09.30 東海道・山陽新幹線 「スマートEX」サービス開始
平成30年 (2018)	03.14 マナカのオートチャージサービス開始	02.09 平昌オリンピック開催 06.18 大阪府北部地震(M6.1)発生 09.06 北海道胆振東部地震(M6.7)発生
(平成31年) 令和元年 (2019)	02.12 港明営業所開業	05.01 元号「令和」となる

年次	名古屋地下鉄振興株式会社のあゆみ
昭和32年(1957)	06.26 名古屋地下鉄振興株式会社創立 (本社:名古屋市中区桜町二丁目5番地 相互ビル内) 11月 地下街開業 S32 名駅地下街・栄町地下街 S35 今池地下街・千種地下街(4店) S36 千種地下街全店 S39 名駅東地下街 S40 栄中地下街・栄南地下街 S42 金山地下街 S44 栄東地下街 S52 上前津地下街 S53 栄北地下街
昭和35年(1960)	6月 駅構内店舗開業 S35 池下駅 S38 覚王山駅・本山駅・東山公園駅 S41 市役所駅 S44 中村公園駅
昭和41年(1966)	4月 本社移転(中区新栄町一丁目6番地 中日ビル8階)
昭和44年(1969)	1月 千種ビル1階に直営喫茶店ラムチー開業 7月 損害保険代理業開業(H19.3廃止)
昭和48年(1973)	5月 電話コーナー設置(千種地下街)
昭和52年(1977)	2月 名駅地下街通路天井等改良工事完成 4月 名駅地下街シャッター改造工事完成
昭和53年(1978)	12月 構内放送開始(栄地下街)
昭和54年(1979)	4月 栄防災センター開設 『聴覚障害者ケーキの店』開業(栄北地下街・S61栄直営本店へ移転)
昭和57年(1982)	4月 貸画廊「ギャラリーチカシン」開設(栄北地下街・H13.4改装)
昭和59年(1984)	8月 チカシン池下 北棟1階3店舗開業 9月 チカシン池下 南棟店舗開業 10月 各地下街等共同防火管理協議会結成
昭和60年(1985)	4月 地下街全面禁煙実施
昭和62年(1987)	11月 地下街開業30周年 100年前に出版された「尾張名所図絵」復刻版を作成
平成元年(1989)	3月-10月 地下街改装営業開始(3月~金山地下街、9月~今池地下街、10月~名駅地下街) 12月 「百年むかしの名古屋」発刊
平成2年(1990)	9月 「美術館&画廊 NAGOYA1990」発刊
平成6年(1994)	1月 池下直営店開店
平成7年(1995)	1月 ナンバース取扱開始
平成11年(1999)	8月 栄東地下街火災
平成12年(2000)	5月 名駅カトレヤ店・南店改装 池下カトレヤ店開店 10月 ロト6販売開始
平成13年(2001)	3月 グリーンジャンボ宝くじ1等当選(名駅北店)
平成14年(2002)	5-6月 栄直営店全店改装 10月 栄地下街を「森の地下街」へリニューアルオープン
平成15年(2003)	10月 オータムジャンボ宝くじ1等当選(金山店)
平成16年(2004)	1月 栄マイナスイオン表示板設置
平成17年(2005)	2月 金山地下街リニューアル 4月 地域冷房工事完成(栄地下街)
平成18年(2006)	11月 名駅北店改装
平成19年(2007)	5月 名駅地下街通路リニューアル
平成22年(2010)	04.01 (株)名古屋交通開発機構と(株)交通エンジニアリングと合併



年次	株式会社交通エンジニアリングのあゆみ
昭和52年(1977)	10.01 株式会社交通エンジニアリング創立 (本社:名古屋市東区西裏町一丁目24番地の3) 地下鉄駅務機器、乗車券発行機、エスカレーター等の保守業務受託  ●地下鉄駅務機器:地下鉄開業に伴う保守業務範囲拡大 S56.11.21 浄心-伏見間 S57.09.21 中村公園-高畑間 S59.09.06 庄内緑地公園-浄心間 H05.08.12 上小田井-庄内緑地公園間 H06.03.30 今池-野並間 H12.01.19 大曽根-砂田橋間 H15.03.27 平安通-上飯田間 H15.12.13 砂田橋-名古屋大学間 H16.10.06 名古屋大学-新瑞橋間  ●地下鉄駅務機器:設定更新作業の受託 S59.04.28 料金改定 S63.04.01 料金改定・リリーカード使用開始 H03.04.01 地下鉄・市バスカードシステム開始 H04.04.28 料金改定 H10.05.06 ストアードフェアシステム(ユリカ)導入 H15.03.27 名鉄共通利用のトランパス使用開始
昭和53年(1978)	04.01 地下鉄駅の空調設備の保守業務受託 S53.04.01 伏見駅・上前津駅 H01.07.01 金山駅 H02.04.01 国際センター駅・久屋大通駅・今池駅 H06.04.01 新瑞橋駅 H06.09.01 矢場町駅 H17.03.31 保守業務終了 10.01 駅務機器保守業務の50%直営化
昭和54年(1979)	10.01 全駅自動改札化に伴う駅務機器保守業務の100%直営化
昭和55年(1980)	06.25 駅務機器共同設計研究会発足 10.01 エスカレーター点検業務の直営化(H22.3.31終了)
昭和58年(1983)	04.01 地下鉄変電所の保守業務受託 S58.04.01 那古野変電所他9箇所 S59.04.01 本陣変電所他5箇所 H01.05.15 御器所変電所 H01.10.01 第2那古野変電所 H06.03.01 瑞穂変電所 H12.01.19 大幸車庫変電所 H15.04.01 野並変電所 H15.12.13 名古屋大学変電所 H16.07.31 名港車庫変電所 H16.10.06 山下通変電所 H20.04.01 前津変電所他2箇所  06.24 同和火災保険(株)の保険代理店認定 10.28 市バスの保険業務開始(H3.10.1業務停止)
昭和59年(1984)	08.01 本社移転(千種区覚王山通七丁目11番地)
昭和60年(1985)	12.01 乗車料集計システムの保守業務受託(上前津) (H9.3.31受託終了)
平成2年(1990)	01.01 地下鉄駅エレベーターの保守業務受託(H22.3.31終了)
平成3年(1991)	10.01 カード処理機の保守業務追加受託
平成6年(1994)	04.01 自動定期券発行機の保守業務受託(H8.5.1追加受託)
平成11年(1999)	07.01 係員定期券発行機の保守業務受託
平成14年(1998)	10.12 栄バスターミナル(オアシス21)ユリカ専用発売機の保守業務追加受託
平成17年(2005)	4月 地下鉄駅空調設備の管理業務受託(H19.3.31終了)
平成19年(2007)	03.31 ドニチエコきっぷ発売機の保守業務追加受託
平成21年(2009)	05.09 久屋大通駅においてエスカレーターが緊急停止し、利用者が負傷する事故が発生 (翌年製造元企業の社員らが業務上過失傷害の疑いで書類送検)
平成22年(2010)	03.31 エスカレーター・エレベーター保守業務受託終了 04.01 (株)名古屋交通開発機構と名古屋地下鉄振興(株)と合併

## 年表 ～社団法人名古屋市交通局協力会～

年次	名古屋市交通局協力会のあゆみ
昭和24年(1949)	10.24 社団法人名古屋市交通局協力会創立(本部:名古屋市中村区竹橋町一丁目31番地)
昭和25年(1950)	10.10 定期券発売開始 S25 新栄町・松坂屋・丸栄 H13 金山乗車券発行所を金山サービスセンターに名称変更 案内業務付加 H14 サービスセンターでインターネットによる定期券予約受付開始 H15 3乗車券発行所(八田・築地口・浄心)廃止 全ての乗車券発行所を「サービスセンター」に機能強化 H16 定期券団体購入サービス「ツカッテイキ」開始
昭和28年(1953)	01.12 旅行業開始(S53.4.27廃止) 11.01 たばこ委託販売開始(池下・浄心電車運輸事務所)
昭和32年(1957)	03.18 売店事業開始 S32 サンロード内に店舗設置 S50 地下鉄簡易売店(9店)営業開始 H18 全ての売店事業廃止 04.25 電話管理運営事業開始 S32 サンロード売店に赤電話2基を設置 (S48青電話、S59黄電話に変更) S63 テレホンカード対応機に機種変更 H12 駅構内公衆電話の設置台数の一部削減に着手 11.18 清掃業務受託 S32 地下鉄電車清掃業務受託(受託第1号) 上飯田電車運輸事務所 S33 路面電車清掃作業 高辻・大久手電車事務所(S44廃業) S42 交通局自動車清掃契約締結 中川自動車港分所 S58 地下鉄駅構内清掃業務開始
昭和34年(1959)	03.17 タバコ販売事業開始(H18.6.30廃止)
昭和35年(1960)	03.19 喫茶店営業開始(局本部建物地下)(S41.9.28廃止)
昭和36年(1961)	12.14 市バス車両側面広告着脱業務受託(広告着脱業務第1号)
昭和39年(1964)	02.08 東山公園内でモノレール事業開始(S49.12.18廃止)
昭和41年(1966)	11.24 コインロッカー事業開始 S42 コインロッカーの設置・管理をロッカー専門業者に委託 S52 全台電動化(199台)
昭和46年(1971)	12.01 ターミナルビル店舗 管理運営受託 S46 黒川ターミナルビル S48 上飯田ターミナルビル
昭和49年(1974)	10.17 直営賃貸店舗「本山駅店舗」開設
昭和54年(1979)	04.14 たばこ自動販売機設置 04.18 宝くじ販売事業開始(H18.2.18廃止)
昭和56年(1981)	09.09 ティッシュ販売事業開始 ・栄、伏見、星ヶ丘、大曽根、上前津の5駅に販売機を設置 ・平成7年12月までに上小田井駅を除く全73駅に設置
昭和60年(1985)	10.01 地下鉄駅構内における集中貼広告の実施
平成5年(1993)	04.01 バス回数券等販売委託店784店と販売委託契約
平成7年(1995)	04.01 地下鉄駅改札外トイレ(71駅)ペーパー自販機169台設置
平成11年(1999)	02.01 栄駅南西改札口業務受託 09.20 「ユリカスピードプリント」及び「一日乗車券スピードプリント」サービス開始 10.01 地下鉄駅の資源ごみ処理業務を受託
平成12年(2000)	04.01 「市バス・地下鉄金山案内所」の案内業務を(株)名古屋交通開発機構から移管
平成13年(2001)	05.01 乗車券委託販売店への乗車券配達業務を受託
平成15年(2003)	03.01 地下鉄駅売店で「数字選択宝くじ」を発売開始
平成17年(2005)	04.01 「市営交通資料センター」・「市電・地下鉄保存館」の管理運営受託
平成19年(2007)	03.31 解散((株)名古屋交通開発機構が全ての事業を継承)

編集・発行	株式会社名古屋交通開発機構
発行年月日	令和元年7月1日
表紙デザイン	株式会社プリアートコーポレーション
印刷	株式会社プリアートコーポレーション
発行部数	550部

この冊子は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



**DO!**

株式会社 名古屋交通開発機構